別表－１　国土地理院の南極観測概要

隊次 年次	隊員名 *印は越冬	測量等 の種類	主な使用機器等 A:航空機、P:空中写真、T:基準点　G:重力、M:地磁気、L:水準、V:VLBI、R:GPS連続観測、K:GPS固定点、H:露岩変動、O:その他	観測内容及び主な成果等 P:空中写真撮影、T:基準点測量　G:重力測量、M:地磁気測量、L:水準測量、V:VLBI測量、R:GPS連続観測(保守を含む)、K:GPS固定点保守、H:露岩変動測量、O:その他	備　　考
第1次 1956 ～1958	地形 　鍛冶晃三 　印部英一	空中 地上写真 平板 天文 三角 基線	A:セスナ180A P:フェアチャイルドK-17 　ウイリアムソンF-24 　手持ちカメラ ・図化作業は、ウイルドステレオプロッターA8、空三は、ツアイスC8による T:ウイルドT2、2m測桿 　ナルダン・クロノグラフ	P:空中写真 ・撮影期間:'57/1/24～2/1 　リーセルラルセン東北部斜写真 　プリンスオラフ海岸・ランゲホプデ斜写真 　プリンスハラルド海岸斜写真 　オングル島～宗谷垂直写真 　オングル島～ランゲホプデ垂直写真 　オングル島～リュツォ・ホルム湾東岸垂直・斜写真 　合計　斜写真463枚(F24・12*12cm) 　　垂直写真791枚(K17・23*23cm) 　　延べ800km、撮影時間21h55m 　　地上写真(6*6cm)　100枚 O:標定点写真撮影　7点 O:平板測量　1:2,000　1葉 　(東オングル島) T:基準点測量 ・観測期間:'57/2/2～2/13 　天測点　　1点(東オングル島) 　基　線　　1辺(東オングル島) 　三角点　　8点(東オングル島) 　前方交会点　4点(大陸露岩)	・図化作業('57年) ・昭和基地　1:1,000　1葉 ・東オングル島　1:5,000　1葉 ・航空フィルムは、 コダック・スーパーXX、19cm*120m さくら航空フィルム9″、5″ ふじ航空フィルム9″ ・天測点 B＝69° 0′ 22″ S±4″ L＝39° 35′ 24″ E±12″ H＝29.18m(環閉合方式) 方位角＝100° 18′ 12″ ±7″ 基線長(南の谷)＝235.71m ・「南極地域に於ける空中写真測量」 鍛冶晃三　時報第21集
第2次 1957 ～1958 越冬 中止	地形・重力 　原田美道 　鍛冶晃三 　鈴木弘道 　大橋伸一 地磁気・地震・夜光・宇宙線 　柿沼清一 測手 　浜田善次郎 　木島昭 　松本郁夫	重力 海上磁気	A:デハビランド 　DHC2Ⅲビーバー(JA3111) P:ツアイスRMK11.5/18 　空中写真撮影は実施できず G:GSI型重力振子 　ウォルドン重力計No.346 M:プロトン磁力計(海上用)	 G:重力 ・測定期間:'57/11/3～58/6/3 　振子測定 　シンガポール　1点 　ケープタウン　1点 ・重力計測定 　シンガポール　　10点 　ケープタウン　　1点 　リュツォ・ホルム湾氷上　11点 M:地磁気 　東京～氷海間全磁力測定	・1956年第3回CSAGI(IGY特別委員会)パリ及び同年9月第2回国際重力会議に置いて南極観測計画に重力測定を行うことが決議された。 ・ポツダム系重力成果(暫定) gGSITokyo＝979.7898 gシンガポール＝978.0805±0.00045 gケープタウン ＝979.6470±0.00045 ・IGSN71(国際重力基準網) gGSITokyo＝979.76319 gシンガポール＝978.06668 gケープタウン　＝979.63271 ・「南極地域観測・重力部門報告」 原田美道・鈴木弘道・大橋伸一 時報第23集
第3次 1958 ～1960	測地・重力・地球物理 　原田美道 測地 　吉田新生 重力・地球物理 　柿沼清一 測手 　松本郁夫 　佐藤晴夫	空中写真 重力 海上磁気	A:デハビランド 　DHC2Ⅲビーバー(JA3111) P:ツアイスRMK11.5/18 G:GSI型重力振子 　ウォルドン重力計No.346 M:プロトン磁力計(海上用) 注)接岸不能のため重力振子使用できず。 　航空フィルムはコダックスーパーXX 　19cm*120m 　図化はステレオトップによる	P:空中写真 ・撮影期間:'59/2/5 　プリンスオラフ海岸(42° 20′ ～39° 31′) 　垂直写真 　縮尺1:23,800、1コース、189枚、 　撮影時間1h G:重力 　重力計測定 　シンガポール　　9点 　ケープタウン　　1点 　東・西オングル島　7点 　リュツォ・ホルム湾氷上　7点 M:地磁気 　東京～氷海間全磁力測定	・図化作業(1957年) プリンスオラフ海岸　1:100,000　2葉 (40° ～42° 30′ E)(未刊行) ・重力成果　ポツダム系(暫定) g天測点(昭和基地)＝982.5401 (gケープタウン＝979.6470を基準)
第4次 1959 ～1961	測地・地球物理 　大橋伸一 測地 　印部英一 地球物理 　柿沼清一	天文 三角 辺長 基線 重力 海上磁気	T:ウイルドT2 　テルロメータ G:ウォルドン重力計No.346 M:プロトン磁力計(海上用)	T:基準点測量 ・観測期間:'60/1/16～2/3 　東オングル島　基線・三角 　西オングル島　基線・三角 　ランゲホプデ　辺長 　大陸露岩　辺長・三角 　パッダ　基線・天測・三角 以上:天測点　　1点 　　基線辺長　5辺 　　三角点　　12点 G:重力 　重力計測定 　シンガポール、ケープタウン、昭和基地　各1点 M:地磁気 　東京～氷海間全磁力測定	 ・天測点(パッダ) B＝69° 36′ 43″ .0S ±5″ L＝38° 16′ 27″ .0E ±12″ No.14に対する方位角＝ 　104° 58′ 4″ ±6″ ・重力成果　ポツダム系(暫定) g振子点(昭和基地)＝982.5453 (gケープタウン＝979.6463を基準)

隊次 年次	隊員名 *印は越冬	測量等 の種類	主な使用機器等 A:航空機、P:空中写真、T:基準点 G:重力、M:地磁気、L:水準、V:VLBI、R:GPS連続観測、K:GPS固定点、H:露岩変動、O:その他	観測内容及び主な成果等 P:空中写真撮影、T:基準点測量 G:重力測量、M:地磁気測量、L:水準測量、V:VLBI測量、R:GPS連続観測(保守を含む)、K:GPS固定点保守、H:露岩変動測量、O:その他	備　　考
第5次 1960 ～1962	地球物理 村田一郎	天文 重力 海上磁気	T:ｳｨﾙﾄﾞT2 G:ｳｫﾙﾄﾞﾝ重力計№.346 M:ﾌﾟﾛﾄﾝ磁力計(海上用)	T:基準点測量 ・観測期間:'61/2/10～2/20 新南岩及びかすみ岩 天測　各1点 G:重力測量 重力計測定 ｼﾝｶﾞﾎﾟｰﾙ　19点 ｹｰﾌﾟﾀｳﾝ　1点 昭和基地　1点 M:地磁気 東京～氷海間全磁力測定	・天測点(新南岩) B＝67° 57′ .0 S L＝44° 29′ .2 E ・天測点(かすみ岩) B＝68° 21′ .5 S L＝42° 13′ .3 E ・'62/10かすみ岩と命名された。観測時は問題岩と仮称 ・ｳｫﾙﾄﾞﾝ重力計 第5次越冬調査用として保管される ・「南極ｼﾝﾎﾟｼﾞｳﾑ(ｱﾙｾﾞﾝﾁﾝ)報告」 原田美道　時報第25集
第6次 1961 ～1962 基地閉鎖さる	副隊長 原田美道 測地・重力 吉田新生 柿沼清一 村田一郎	空中写真 天文・水準 重力 海上磁気	A:ｾｽﾅ185A(JA3302) P:ﾂｱｲｽRMK11.5/18 ・航空ﾌｨﾙﾑは、ｹﾞﾊﾞﾙﾄｱﾋﾞﾌｫｯﾄﾊﾟﾝ30　19cm*60m使用 ・図化作業は、標定点設置にﾗｼﾞｱﾙｾｶﾄｰﾙ、RSI ・細部図化にｽﾃﾚｵﾄｯﾌﾟ使用 T:ｳｨﾙﾄﾞT2 L:自動ﾚﾍﾞﾙALZ G:GSI型重力振子 ｳｫﾙﾄﾞﾝ重力計№.346	P:空中写真 ・撮影期間:'62/1/5～1/23 ﾌﾟﾘﾝｽﾊﾗﾙﾄﾞ沿岸北部　146枚 ﾌﾟﾘﾝｽｵﾗﾌ沿岸(40～45° E)　250枚 ﾌﾟﾘﾝｽﾊﾗﾙﾄﾞ沿岸南(38～40° E)　185枚 ﾌﾟﾘﾝｽﾊﾗﾙﾄﾞ沿岸西(38～40° E)　46枚 ﾌﾟﾘﾝｽﾊﾗﾙﾄﾞ沿岸南北(38～40° E)　127枚 ﾌﾟﾘﾝｽﾊﾗﾙﾄﾞ沿岸西(35～38° E)　84枚 ﾌﾟﾘﾝｽｵﾗﾌ沿岸補備(40～44° E)　137枚 計　垂直写真(18cm*18cm)　975枚 延べ43ｺｰｽ、延長1,235km 縮尺1:26,500、撮影時間27h10m T:基準点測量 ・観測期間:'62/1/11～1/17 ｽｶｰﾚﾝ地区　天測　1点 東ｵﾝｸﾞﾙ島内　水準測量　2路線 験潮　ﾈｽｵｲｱ　1ヶ所 G:重力 ・観測期間:'62/1/14～1/30 昭和基地内 重力振子測定 ｹｰﾌﾟﾀｳﾝ往復　1点 昭和基地振子点　1点 ・重力計測定 昭和基地　2点 ｹｰﾌﾟﾀｳﾝ　1点 ﾈｽｵｲｱ・西ｵﾝｸﾞﾙ島内　10点 ｼﾝｶﾞﾎﾟｰﾙ～ｸｱﾗﾙﾝﾌﾟｰﾙ　15点 M:地磁気 東京～氷海間全磁力測定協力	・図化作業(1957年) ﾌﾟﾘﾝｽｵﾗﾌ海岸　1:250,000　1葉 ﾘｭﾂｫ・ﾎﾙﾑ湾　1:250,000　1葉 西ｵﾝｸﾞﾙ島　1:5,000　1葉 図式は、1961年SCAR及び1962年ボン市におけるICA主催1/100万国際地図会議におけるSCAR地図分科会において採択されたものを使用 T:天測点(スカーレン) B＝69° 38′ 15″ S L＝39° 24′ 8″ E H＝21.03m 方位角＝82° 2′ 8″ ・水準点 天測点(東ｵﾝｸﾞﾙ島)－ﾈｽｵｲｱ験潮場固定点＝+27.350m 天測点(東ｵﾝｸﾞﾙ島)－重力振子点＝+15.227m ・重力 g昭和基地＝982.5394±0.005(Aｾｯﾄ) gｹｰﾌﾟﾀｳﾝ＝979.6463(Aｾｯﾄ) gTOKYO＝979.7770を基準とする ・IGSN71 g昭和基地＝982.5256 ・「第6次南極観測測地事業報告」 原田美道　時報第27集 ・「南極の各国測量概況」 原田美道　時報第28集
第7次 1965 ～1967	地球物理 *印部英一	三角	T:ｳｨﾙﾄﾞT2	T:標定点測量及び刺針 ・観測期間:'66/10/17～10/24 ﾗﾝｸﾞﾎﾌﾟﾃﾞ　8点 ｵﾝｸﾞﾙ島基準点改測、刺針 ・観測期間:'66/2～'67/1 験潮(昭和基地)	・既設のｵﾝｸﾞﾙ島三角網を延長してﾗﾝｸﾞﾎﾌﾟﾃﾞ地区に結合 ・験潮記録より潮汐調和解析を実施(南極資料№.32) 図化作業(1966年) ｵﾝｸﾞﾙｶﾙﾍﾞﾝ島　1:5,000　1葉 ﾃｵｲﾔ島　1:5,000　1葉 ﾊﾟｯﾀﾞ島　1:25,000　1葉
第8次 1966 ～1968	重力 田島　稔	海上重力 航空磁気	G:GSI型海上重力計 ﾗｺｽﾄ重力計 M:ﾌﾟﾛﾄﾝ磁力計 (航空用、海上用) A:ｼｺﾙｽｷｰS62A	G:重力 東京～氷海間及び帰路ｹｰﾌﾟﾀｳﾝ～ﾌｨﾘﾋﾟﾝ間 ﾘｭﾂｫ・ﾎﾙﾑ湾氷上　5点 昭和基地　3点 M:航空磁気 ・観測期間:'67/2/3～2/6 ﾘｭﾂｫ・ﾎﾙﾑ湾沿岸　観測時間1h19m ﾗﾝｸﾞﾎﾌﾟﾃﾞ全磁力測定　5点 ﾌﾗｯｯﾝｶﾞ～ｽｶﾙﾌﾟｽﾈｽ間全磁力	・弦振動方式による重力測定 ・「南極地域の測量」 田島稔　時報第34集
第9次 1967 ～1969	地学 *柿沼清一 地球物理 *吉田光雄	極点旅行 位置 高度 重力 地磁気	T:ｳｨﾙﾄﾞT2	O:極点旅行 観測期間:'68/9/28～69/2/15 標高測定(往復)　1,314点 重力　853点 地磁気(全磁力、三成分)　147点	・図化作業(1970) 極点旅行航法用地図作成 測定成果を帰国後同地図に図示 1/100万及び1/300万　3葉

隊次 年次	隊員名 *印は越冬	測量等 の種類	主な使用機器等 A:航空機、P:空中写真、T:基準点 G:重力、M:地磁気、L:水準、V:VLBI、R:GPS連続観測、K:GPS固定点、H:露岩変動、O:その他	観測内容及び主な成果等 P:空中写真撮影、T:基準点測量 G:重力測量、M:地磁気測量、L:水準測量、V:VLBI測量、R:GPS連続観測(保守を含む)、K:GPS固定点保守、H:露岩変動測量、O:その他	備　　考
			G:GSI型海上重力計 ﾗｺｽﾄ重力計 №118	G:重力 東京～氷海間海上重力 ｹｰﾌﾟﾀｳﾝ、ｺﾛﾝﾎﾞ重力計測定 ｵﾝｸﾞﾙ島周辺重力計測定 東ｵﾝｸﾞﾙ島　33点 西ｵﾝｸﾞﾙ島　106点 ﾃｵｲﾔ島　29点 基地北方氷海上　66点	・図化作業(1968) ﾗﾝｸﾞﾎﾌﾟﾃﾞ 1:25,000
			M:GSI型ﾌﾟﾛﾄﾝ磁力計(海上用)	M:地磁気 東京～氷海間全磁力測定	
第10次 1968 ～1970	測地 橋爪昭次 地球物理 *増田 実	空中写真 天文 三角 辺長 重力 航空磁気	A:ﾛｯｷｰﾄﾞ・ｱｽｶﾙﾃ式ﾗｻ60 P:ﾂｱｲｽRMK11.5/18 ﾌｨﾙﾑ現像器、ﾓｰｽ社B-5 10ｲﾝﾁ、精機社、印画焼付機 ・航空ﾌｨﾙﾑは、ﾌｼﾞ PET(ASA100)使用	A:空中写真 撮影期間:'69/1/16～1/27 宗谷海岸　22ｺｰｽ 570km ﾌﾚｯﾀ湾以西　5ｺｰｽ 90km やまと山脈及びﾎﾞﾂﾝﾇｰﾃﾝ 9ｺｰｽ 180km 合計7ﾌﾗｲﾄ 延べ25h18m	
			T:ｳｲﾙﾄﾞT2 ｴﾚｸﾄﾛﾃｰﾌﾟ	T:基準点 ・観測期間:'69/1/28～1/29 ﾘｭﾂｵ・ホルム湾西部　4点 三角・多角方式併用 ・観測期間:'69/2/22 からめて岬天測　1点 ・観測期間:'69/10/7～10/11 ｽｶﾙﾌﾞｽﾈｽ 天測　1点 辺長(№1から)　1辺 簡易験潮　1回 三角点　10点(内7点対標)	・ﾈｽﾎﾙﾒﾝ、ｱｳｽﾄﾎﾌﾟﾃﾞ、ソータ、 ﾌﾚｯﾀ湾西部 ・天測点〔からめて岬 №4(概算値)〕 B＝69° 10.1′ S L＝35° 26.0′ E H＝60m 方位角＝205° 44.0′
			G:GSI型海上重力計 ﾗｺｽﾄ重力計 G118、G183	G:重力 ・'69/12/26～70/1/30 東西ｵﾝｸﾞﾙ島　15点 ・'69/8/5～8/11 ﾌﾟﾘﾝｽｵﾗﾌ海岸～ｵﾒｶﾞ岬　5点 ・'69/9/18～9/20 ﾗﾝｸﾞﾎﾌﾟﾃﾞ周辺　4点 ・'69/10/3～10/13 ﾌﾟﾘﾝｽﾊﾗﾙﾄﾞ海岸～白瀬氷河 11点	・G183はﾄﾞﾘﾌﾄが大きく成果不良 同機は、東西ｵﾝｸﾞﾙ島以外に使用
			M:ﾌﾟﾛﾄﾝ航空磁力計	M:地磁気(航空磁気) 観測期間:'69/1/28～1/29 昭和基地、ﾊﾟｯﾀﾞ、ﾈｽﾎﾙﾒﾝ、 ｱｳｽﾄﾎﾌﾟﾃﾞ、ソータに沿う海岸線	
第11次 1969 ～1971	測地 日高照明	空中写真 天文 三角 辺長	A:ﾛｯｷｰﾄﾞ・ｱｽｶﾙﾃ式ﾗｻ60 ｼｺﾙｽｷｰS62A P:ﾂｱｲｽRMK11.5/18 ｳｲﾙﾄﾞRC9 9/23	P:空中写真 撮影期間:'70/1/17～1/31 ﾘｭﾂｵ・ホルム湾西沿岸(37° ～34° E) 21ｺｰｽ 1,070km 536枚 やまと山脈　5ｺｰｽ 120km 153枚 ﾘｰｻｰﾗﾙｾﾝ西(34° E以西)斜写真,若干 昭和基地～宗谷海岸 9ｺｰｽ 60km 159km	・空中写真 ﾘｭﾂｵ・ホルム湾 ｳｲﾙﾄﾞRC9 やまと山脈、宗谷はﾂｱｲｽRMK使用 滑走路は、東ｵﾝｸﾞﾙ島北側を使用。ﾘｰｻｰﾗﾙｾﾝ以西のためからめて岬近傍の前進基地設置は不能
	雪氷 *吉村愛一郎	重力 航空磁気 地上磁気	T:ｳｲﾙﾄﾞT2 ｴﾚｸﾄﾛﾃｰﾌﾟ	T:基準点測量 ・観測期間:'70/3/3～3/10 西ｵﾝｸﾞﾙ島　5点 ・観測期間:'70/4/4、21及び10/11 西ｵﾝｸﾞﾙ島改測　3点 ・観測期間:'70/9/25～10/2 ﾌﾞﾚｰﾄﾞﾎﾞｰｸﾞﾆｯﾊﾟ　3点 既知点6点、辺長2辺、対標9点 ・観測期間:'70/2/16 新島　天測　1点 O:ﾗﾝｸﾞﾎﾌﾟﾃﾞ調査旅行 期間:'70/8/14～9/16 ｺｰｽ:昭和基地～S16～ﾗﾝｸﾞﾎﾌﾟﾃﾞ ﾄﾗﾊﾞｰｽ測量　18点 O: みずほ・ｻﾝﾀﾞｰｺｯｸ調査旅行 期間:'70/11/3～'71/1/22 昭和基地～みずほ基地～ ｻﾝﾀﾞｰｺｯｸ間　天測点7点 重力・地磁気は2～5kmごとに実施。 ｻﾝﾀﾞｰｺｯｸ多角測量1～5km間隔で実施。 基線(S16－S20)1辺	№31(W1)、32(W2)、33(W3)、34(W4)、35(W5) №7、8、9 ・天測点(新島、概算値) B＝69° 20.6′ S L＝37° 35.6′ E ・大陸氷床変動・変形調査に協力 成果は極地研保管 ・ｻﾝﾀﾞｰｺｯｸ、ﾇﾅﾀｰｸH B＝68° 42.0′ S L＝50° 34.6′ E H＝1,657m 成果は極地研保管

隊次 年次	隊員名 *印は越冬	測量等 の種類	主な使用機器等 A:航空機、P:空中写真、T:基準点 G:重力、M:地磁気、L:水準、V:VLBI、R:GPS連続観測、K:GPS固定点、H:露岩変動、O:その他	観測内容及び主な成果等 P:空中写真撮影、T:基準点測量 G:重力測量、M:地磁気測量、L:水準測量、V:VLBI測量、R:GPS連続観測(保守を含む)、K:GPS固定点保守、H:露岩変動測量、O:その他	備　　考
			G:ﾗｺｽﾄ重力計 G118、G183	G:重力 ・観測期間:'70/3/17～17 西ｵﾝｸﾞﾙ島: 5点(G118) ﾗﾝｸﾞﾎﾌﾟﾃﾞ: 11点 ・観測期間:'70/10/23 ｵﾝｸﾞﾙｶﾙﾍﾞﾝ: 12点(G183)	
			M:ﾌﾟﾛﾄﾝ航空磁力計 GSI型磁気儀	M:航空磁気 観測期間:'70/1/16～1/19 ﾘｭﾂｵ・ﾎﾙﾑ湾 4ｺｰｽ	・「南極点調査旅行」 柿沼清一 時報第38集
第12次 1970 ～1972	測地 高橋秀直	空中写真	A:ﾛｯｷｰﾄﾞ・ｱｽｶﾙﾃ式ﾗｻ60 JA3190 ｼｺﾙｽｷｰS62A P:ｳｲﾙﾄﾞRC9	P:空中写真 撮影期間:'71/2/14～2/24 からめて岬付近 6ｺｰｽ 51枚 ﾘｭﾂｵ・ﾎﾙﾑ湾 8ｺｰｽ 135枚 撮影時間:10h47m 航空ﾌｨﾙﾑ:ﾌｼﾞﾈｵﾊﾟﾝSS	
	地球物理 *小林弘司	三角 辺長	T:ｳｲﾙﾄﾞT2 ｴﾚｸﾄﾛﾃｰﾌﾟ	T:基準点測量 ・観測期間:'71/4/22～5/3 ｳｰﾄﾎﾒﾙﾝ島、ｵﾝｸﾞﾙｶﾙﾍﾞﾝ島 弁天島 多角測量 3点 ・観測期間:'71/8/20～11/19 西ｵﾝｸﾞﾙ島～ﾗﾝｸﾞﾎﾌﾟﾃﾞ ﾙﾝﾊﾟ島、ｼｶﾞｰﾚﾝ島、無名島に各1点 ﾃｵｲﾔ島2点 計7点 ・観測期間:'71/9/28～10/9 ｽｶﾙﾋﾞｰｸﾊﾙｾﾞﾝ 4点 ﾔﾙﾄｲ 2点 小露岩 1点 ｽｶｰﾚﾝ～ｽｶﾙﾌﾟｽﾈｽ 測距1辺	・無名島3島は、中間の島が左島、最南端の島が右島と命名('72/6推進本部) ・ｽｶﾙﾋﾞｰｸﾊﾙｾﾞﾝとｽｶﾙﾌﾟｽﾈｽの三角網の結合
第13次 1971 ～1973	測地 木村幸吉	天文 三角 辺長 海上重力	T:ｳｲﾙﾄﾞT3、T2 ｼﾞｵｼﾞﾒｰﾀ8型 G:ｳｫﾙﾄﾞﾝ重力計 ﾗｺｽﾄ重力計 GSI型海上重力計	T:基準点測量 観測期間:'71/12/31～1/10 日の出岬天測点1点、基線1辺 三角点9点、標高点1点 G:重力測定 T:宗谷海岸測地網結合 ・観測期間:'72/2/1～2/3 ﾊﾟｯﾀﾞ・ｽｶｰﾚﾝ・ｽｶﾙﾌﾟｽﾈｽ・ﾗﾝｸﾞﾎﾌﾟﾃﾞ及びｵﾝｸﾞﾙ島 測距3辺(既設点4点使用) ・観測期間:'72/1/30～1/31 白瀬氷河天文測量 ｲﾝｽﾃｸﾚﾊﾟﾈ 天測点1点 G:海上重力 東京～氷海間	№1301～1309 ・重力測定は、ｽｹｰﾙｱｳﾄのため成果ならず ・測地網結合多角測量に初めてｳｲﾙﾄﾞT3及びﾚｰｻﾞｰ測距儀使用(ｼﾞｵｼﾞﾒｰﾀ8型) ・天測点は、対標含む
第14次 1972 ～1974	測地 富樫昭二 佐藤 昇	天文 三角 辺長 重力 地磁気	T:ｳｲﾙﾄﾞT3、T2 ｼﾞｵｼﾞﾒｰﾀ8型 HP3800B M:ﾌﾟﾛﾄﾝ磁力計 A:ｼｺﾙｽｷｰS62A	T:基準点測量 ・観測期間:'73/1/11 東西ｵﾝｸﾞﾙ島 基線№1－№8 1辺 ・観測期間:'73/1/25～31 ﾌﾞﾚｰﾄﾞﾎﾞｰｸﾞﾆｯﾊﾟ 刺針 9点、埋標 6点 地磁気 2点 ・観測期間:'73/1/28～2/7 ﾃｰﾚﾝ、ﾋｭｰｶ 基準点 7点(刺針、埋標含む) T:辺長測量 ・観測期間:'73/2/1～3、2/8～12 東ｵﾝｸﾞﾙ島～ﾗﾝｸﾞﾎﾌﾟﾃﾞ～ｽｶﾙﾌﾟｽﾈｽ 測距2辺、測角3点、新設1点 ・観測期間:2/3～7、2/12～15 ｽｶﾙﾌﾟｽﾈｽ 刺針5点(調査9点)、埋標4点 ・観測期間:'73/2/7～10、13～20 ﾋﾞﾎﾞｰｸﾞｵｰｻﾈ(ｽｶﾙﾌﾟｽﾈｽ含む) 基準点 7点(刺針、埋標含む)	 ・第11次観測の基準点に刺針後埋標を実施。 ・磁気嵐のため観測値不安定 ・ｼﾞｵｼﾞﾒｰﾀ8型使用 ・ｼﾞｵｼﾞﾒｰﾀ8型、ｳｲﾙﾄﾞT3、T2使用 ・HP3800B、ｳｲﾙﾄﾞT2使用 ・夏隊の基準点測量には、越冬隊阿部も参加している。
	地球物理 *阿部義昭	三角 辺長	T:ｳｲﾙﾄﾞT3、T2 ｼﾞｵｼﾞﾒｰﾀ8型 HP3800B	T:基準点測量 ・観測期間:1973/12/2～12/14 やまと山脈多角測量 基準点 33点(内金属標、岩石上 16点)、測距27辺(延べ58km) 天測点 D群 1点(№200)	・D、E、F、G群地図作製の目的で実施。多角点から周辺山頂34地点を前方交会により位置決定。 ・天測点(№200) B＝71° 24.1′ S L＝35° 40.3′ E M点方位角＝7° 59.0′

隊次 年次	隊員名 *印は越冬	測量等 の種類	主な使用機器等 A:航空機、P:空中写真、T:基準点 G:重力、M:地磁気、L:水準、V:VLBI、R:GPS連続観測、K:GPS固定点、H:露岩変動、O:その他	観測内容及び主な成果等 P:空中写真撮影、T:基準点測量 G:重力測量、M:地磁気測量、L:水準測量、V:VLBI測量、R:GPS連続観測(保守を含む)、K:GPS固定点保守、H:露岩変動測量、O:その他	備　　考
			M:ﾌﾟﾛﾄﾝ磁力計	・観測期間:'73/10/18 オングル島～S16区間 ・観測期間:'73/9/10～10/23 S16～みずほ基地Z88区間: 多角点 100点 ・観測期間:'73/11/15 Z88～みずほ基地: 多角点 108点	・昭和基地～みずほ基地 高度角測定:正反、往復 水平角:1対回、往復 方位角:太陽観測
			G:ﾗｺｽﾄ重力計	G:重力測量 ・観測期間:'73/11/10～12/10 S16～Z88区間 20km間隔	
第15次 1973 ～1975	測地 吉村愛一郎 阿部正勝	天文 三角 辺長 海上重力 航空写真	T:ｳｲﾙﾄﾞT2 ｼﾞｵｼﾞﾒｰﾀ8型 ｴﾚｸﾄﾛﾃｰﾌﾟ	T:基準点測量 ・観測期間:'74/1/26～2/2 ﾙﾝﾄﾞﾎﾞｰｸｽﾍｯﾀ、ｽﾄﾗﾝﾄﾞﾆｯﾊﾟ、ｽﾍｯﾀ 天測点 1点、基準点 6点 基線 1辺、験潮場固定点 1点 ﾆｯﾊﾟ:基準点 6点、基線 1辺 験潮場固定点 1点 ｽﾍｯﾀｰﾆｯﾊﾟ結合 1辺(約10km) ・観測期間:'74/2/11～2/14 新南岩 天測点 1点、 基準点 8点、同補点 2点 基線 1辺 ・観測期間:'74/2/8 ﾘｰｾﾙﾗﾙｾﾝ天文測量 岬東西に各1点(大陸氷上の点)	・ｴﾚｸﾄﾛﾃｰﾌﾟ使用 ・ｼﾞｵｼﾞﾒｰﾀ8型使用 ・標高は海中にﾎﾟｰﾙを立て交会法により決定 ｼﾞｵｼﾞﾒｰﾀ8型使用 東側 B＝68° 42′ 8″ S L＝ 34° 5′ 55″ E H＝103m 西側 B＝68° 40′ 40″ S L＝33° 39′ 8″ E H＝100m
			M:GSI型海上重力計	G:海上重力 東京～ﾌﾘｰﾏﾝﾄﾙ～昭和基地 ～ｹｰﾌﾟﾀｳﾝ	・東京～ﾌﾘｰﾏﾝﾄﾙ間は欠測多し
			P:ﾂｱｲｽRMK11.5/18 A:ｾｽﾅ、A185F(JA3681)	P:空中写真 撮影期間:1974/1/25 ｵﾝｸﾞﾙ島 2ｺｰｽ 21枚 縮尺1:13,000 1,500m	
	地球物理 *金子英樹	航空磁気	T:ｳｲﾙﾄﾞT2 ｼﾞｵｼﾞﾒｰﾀ8型 HP3800B	T:基準点測量 観測期間:1974/8/27 ﾙﾝﾄﾞﾎﾞｰｸｽﾍｯﾀ近傍 よもぎり島 1点	・よもぎり島は、'77/3命名(それまでは、新しい島と仮称) ・よもぎり島(前方交会法による) B＝69° 43′ 2.2″ S L＝38° 58′ 22.5″ E
			M:ﾌﾟﾛﾄﾝ磁力計(航空用)	M:航空磁気 観測期間:'74/11/29～12/28 ﾗﾝｸﾞﾎﾌﾟﾃﾞ～日の出岬 18ｺｰｽ、1,920km 観測時間15h25m	
第16次 1974 ～1976	測地 石原正男	天文 三角 辺長 航空磁気	T:ｳｲﾙﾄﾞT2 ｼﾞｵｼﾞﾒｰﾀ8型	T:基準点測量 ・観測期間:'75/1/23～1/26 ﾊﾟｯﾀﾞ～ｱｳｽﾄﾎﾌﾟﾃﾞ多角測量 ｱｳｽﾄﾎﾌﾟﾃﾞ:天測点1点含む基準点2点ﾊﾟｯﾀﾞとの網結合	
	地球物理 *真部允宏		M:ﾌﾟﾛﾄﾝ磁力計(航空用)	・観測期間:'75/1/27～2/2 ﾙﾝﾄﾞﾎﾞｰｸｽｺﾗﾈ 天測点1点、基準点7点、基線1辺 ・観測期間:'75/2/6～2/8 明るい岬 天測点 1点、方位標 1点	
				・観測期間:'75/8/8～8/29 ﾘｭﾂｫ・ﾎﾙﾑ湾南部 天測点 1点(よもぎり島) 基準点 3点(内2点既設) ・観測期間:'75/9/8～10/20 ・観測期間:'75/10/20・12/11 ｵﾝｸﾞﾙ島周辺 基準点 8点(ｵﾝｸﾞﾙ島既設点使用) 対空標識 9点(新設8点)、刺針 4点	・ｲﾝｽﾃｸﾚﾊﾟﾈ、ｲﾝｽﾃｵｯﾃﾞﾝ、みつどもえ島及びよもぎり島
				・観測期間:'75/11/12～'76/1/24 やまと山脈多角測量 辺長 7辺、基準点測角10点(内10点新設、既知点4点使用) 氷河流動点測定、ｸﾞﾘｯﾄﾞ点6点及び辺長1辺	・A、B、C、D群中縮尺図作成目的 各群山頂前方交会法による位置決定。成果は極地研保管 ・氷河流動調査の辺長は、№001(214)～002(215)区間
				M:航空磁気 やまと山脈:2ｺｰｽ、1,300km、 10,000fT、延べ時間23h35m	

隊次 年次	隊員名 *印は越冬	測量等 の種類	主な使用機器等 A:航空機、P:空中写真、T:基準点 G:重力、M:地磁気、L:水準、V:VLBI、R:GPS連続観測、K:GPS固定点、H:露岩変動、O:その他	観測内容及び主な成果等 P:空中写真撮影、T:基準点測量 G:重力測量、M:地磁気測量、L:水準測量、V:VLBI測量、R:GPS連続観測(保守を含む)、K:GPS固定点保守、H:露岩変動測量、O:その他	備　　考
	測地 *中条賢治	空中写真	P:ツアイスRMK 11.5/18 ウイルドRC9 9/23 A:セスナ、A185F(JA3681) シコルスキーS62A	P:空中写真 ・撮影期間:1975/1/14～3/29 :1975/9/30～76/1/8 リーセルラルセン(30～35° E): 縮尺1:34,000 19コース、713km、231枚、10,000ft やまと山脈: 縮尺1:34,000 24コース、943km、373枚、10,000ft ベルジカ山脈(予撮): 縮尺1:32,000 7コース、230km、100枚、15,000ft リュツォ・ホルム湾東部: 縮尺1:34,000 12コース、450km、144枚、10,000ft リュツォ・ホルム湾東沿岸氷河: 縮尺1:34,000 15コース、700km、266枚、10,000ft プリンスオラフ海岸: 縮尺1:26,000 7コース、190km、100枚、10,000ft ランゲホブデ、オングル島、スカーレン、スカルブスネス(カラー及び赤外): カラー:縮尺1:10,400 25コース、252km、273枚、3,000ft 赤外:縮尺1:10,400 13コース、243km、253枚、3,000ft 全撮影時間:165h50m、 延べコース122、延長3,721km	・航空フィルム:フジベット(ASA120)、 フジカラー(ASA100)、コダック赤外 注)カラー、赤外写真は、極地研要望による。また、生物棲息地域も併せて実施。カラー、赤外写真フィルムは極地研保管。
第17次 1975 ～1979	測地 五味武彦	天文 三角 辺長	T:ウイルドT2 ジオジメータ8型	T:基準点測量 スカルブスネス東方露岩基準点網結合 前方交会点 2点 (No.144、145) ブレードホーグニッパ、ビーホーグオーサネ地区の既設点3点使用	
第18次 1976 ～1978	地球物理 *大滝 茂	空中写真 天文・三角 辺長 重力・地磁気	A:セスナ、A185F(JA3681) P:ツアイスRMK11.5/18 ニコンF2.35mm T:ウイルドT2 HP3800B、セイコーグランドクォーツ G:ラコスト重力計 M:プロトン磁力計	P:空中写真 ・撮影期間:'77/1/19、20 リュツォ・ホルム湾沿岸氷河、白瀬氷河、スカーレン・テーレン・ホノール各氷河 17コース、488枚、撮影時間8h5m ・撮影期間:'77/1/24 やまと山脈 E、F群斜め写真 1コース T:基準点測量 観測期間:'77/1/5～1/10 オメガ岬 天測点 1点 基準点 4点 基 線 1辺 験潮場固定点 1点 刺針 G:重力 ・観測期間:'77/1/26～1/31 東オングル島 46点 M:地磁気 ・観測期間:'77/1/19～20 オメガ岬 全磁力 62点 ・観測期間:'77/11/14 弁天島 全磁力 82点	・滑走路は、オングル島見晴台裏 900m、幅25mの氷上使用 ・「南極における測量と地図作製の推移」 吉田新生、柿沼清一 時報第49集
第19次 1977 ～1979	測地 国見利夫	天文 三角 辺長 重力 地磁気 刺針 験潮	T:ウイルドT2 HP3800B セイコーグランドクォーツ L:レベルE2 G:ラコスト重力計	T:基準点測量 ・観測期間:'77/12/30～'78/1/14 竜宮岬 基準点(天測点1点含む) 10点 補 点 2点、測 距 5辺 簡易験潮 1ヶ所、刺針 10点 ・観測期間:'78/1/24～31 奥岩 基準点(天測点1点含む) 3点 測 距 2辺、 簡易験潮 1ヶ所 刺針 3点 T:三角網改測 ・観測期間:'78/2/1～3 東オングル島 基準点 9点(内再設 1点) 測 距 2辺 G:重力 竜宮岬 6点 (基準点測量と同時に実施)	・「Magnetic Maps 1975 of the Antarctic」 国土地理院発行 ①偏角図 ②水平分力図 ③伏角図 ④全磁力図 ⑤北成分図 ⑥東成分図 ⑦鉛直分力図 ⑧全磁力残差図

隊次 年次	隊員名 *印は越冬	測量等 の種類	主な使用機器等 A:航空機、P:空中写真、T:基準点 G:重力、M:地磁気、L:水準、V:VLBI、R:GPS連続観測、K:GPS固定点、H:露岩変動、O:その他	観測内容及び主な成果等 P:空中写真撮影、T:基準点測量 G:重力測量、M:地磁気測量、L:水準測量、V:VLBI測量、R:GPS連続観測(保守を含む)、K:GPS固定点保守、H:露岩変動測量、O:その他	備　　考
			M:ﾌﾟﾛﾄﾝ磁力計	M:地磁気 奥岩　5点 (基準点測量と同時に実施) 西ｵﾝｸﾞﾙ島　5点	・「南極の磁気図」 春山仁　　測量'78-7
第20次 1978 ～1980	測地 *田中　等	天文 三角 辺長 水準 重力 地磁気 簡易験潮 刺針	A:ｼｺﾙｽｷｰS-61A T:ｳｲﾙﾄﾞT2 HP3800B ｾｲｺｰｸｫｰﾂ	T:基準点測量 ・観測期間:'79/2/2～2/5 かすみ岩 天測点　1点、 基準点　3点 測距　3辺、 測角　4点(刺針含む) 簡易験潮　1点 ・観測期間:'79/9/10～9/16 ﾎﾉｰﾙ奥岩 基準点　3点(埋標なし) 測角　5点、刺針　3点	№1021、1022、1023、1024
			L:ｳｲﾙﾄﾞN3 ｳｲﾙﾄﾞｰ等標尺	L:水準測量 ・観測期間:'79/3/1～3/6 東ｵﾝｸﾞﾙ島 観測　1.5km　埋標　9点	№1025～1032、1040 (基準点配点図参照) 昭和基地周辺
			G:ﾗｺｽﾄ重力計(極地研所有)	G:重力測量 ・観測期間:'79/11/30～12/10 西ｵﾝｸﾞﾙ島 基準点　9点、 独標点　16点	
			M:ﾌﾟﾛﾄﾝ磁力計	M:地磁気測量 ・観測期間:'79/5/1～10/6 ﾘｭﾂｫ・ﾎﾙﾑ湾海氷上 全磁力　316点 ・観測期間:'79/8/22～8/27 ｽｶｰﾚﾝ 全磁力　43点	
第21次 1979 ～1981	測地 宮崎清博	天文 三角 辺長 重力 地磁気 簡易験潮 刺針	A:ｼｺﾙｽｷｰS-61A T:ｳｲﾙﾄﾞT2 HP3800B ｾｲｺｰｸｫｰﾂ L:ﾂｱｲｽNI2	T:基準点測量 ・観測期間:'80/1/24～28 明るい岬 基準点　5点(天測点1点含む) 補点　2点、測距　3辺、測角　6点 刺針　7点、簡易験潮　1ヶ所 ・観測期間:'80/1/29～31 二番岩 基準点　6点(天測点　1点含む) 補点　1点、測距　3辺、測角　7点 刺針　7点 ・観測期間:'80/2/1～3 かすみ岩 対空標識　4点	
			G:ﾗｺｽﾄ重力計	G:重力測量 ・明るい岬 基準点　2点 ・二番岩 基準点　3点	・重力・地磁気測量は基準点測量と同時に実施
			M:ﾌﾟﾛﾄﾝ磁力計	M:地磁気測量 ・明るい岬 基準点　全磁力　1点 ・二番岩 基準点　全磁力　1点	
第22次 1980 ～1982	測地 長壁正幸	空中写真 天文 三角 辺長 重力 地磁気 簡易験潮 刺針	A:ﾋﾟﾗﾀｽ式PC-6 ｼｺﾙｽｷｰS61A P:ｳｲﾙﾄﾞRC10	P:空中写真 撮影期間:'81/1/4～1/6 やまと山脈　縮尺1:25,000 4ｺｰｽ、60km、22枚 ﾌﾟﾘﾝｽｵﾗﾌ海岸　縮尺1:25,000 6ｺｰｽ、440km、104枚	
			T:ｳｲﾙﾄﾞT2 HPｴﾚｸﾄﾛﾀｷｵﾒｰﾀ L:測機舎AL-2	T:基準点測量 ・観測期間:'81/1/18～1/21 あけぼの岩 基準点　4点(天測点1点含む) 測距　6辺、測角　4点 刺針　4点、簡易験潮　1ヶ所 ・観測期間:'80/1/22～1/25 天文台岩 基準点　4点(天測点1点含む) 測距　2辺、測角　5点 刺針　4点	・天文台岩は天測未完につき成果なし

隊次 年次	隊員名 *印は越冬	測量等 の種類	主な使用機器等 A:航空機、P:空中写真、T:基準点 G:重力、M:地磁気、L:水準、V:VLBI、R:GPS連続観測、K:GPS固定点、H:露岩変動、O:その他	観測内容及び主な成果等 P:空中写真撮影、T:基準点測量 G:重力測量、M:地磁気測量、L:水準測量、V:VLBI測量、R:GPS連続観測(保守を含む)、K:GPS固定点保守、H:露岩変動測量、O:その他	備　　考
			M:ﾌﾟﾛﾄﾝ磁力計	M:地磁気測量 ・あけぼの岩 基準点 4点 全磁力 ・天文台岩 基準点 4点 全磁力	・地磁気測量は基準点測量と同時に実施
第23次 1981 ～1983	測地 奥山修一	天文 三角 辺長 水準 重力 地磁気 刺針 空中写真	T:ｳｲﾙﾄﾞT2 HP3808A ｾｲｺｰｸｫｰﾂ L:ｳｲﾙﾄﾞN3 ｳｲﾙﾄﾞｰ等標尺	T:基準点測量 ・観測期間:'82/1/21～1/23 ｽｶﾙﾋﾞｰｸﾊﾙｾﾞﾝ 刺針、対空標識設置 4点 ・観測期間:'82/1/30～1/31 ﾙﾝﾄﾞﾎﾞｰｸｽｺﾗｰﾈ 刺針、対空標識設置 7点	
			G:ﾗｺｽﾄ重力計 M:ﾌﾟﾛﾄﾝ磁力計	M:地磁気測量 基準点測量と同時に実施 ｽｶﾙﾋﾞｰｸﾊﾙｾﾞﾝ 全磁力 4点 ﾙﾝﾄﾞﾎﾞｰｸｽｺﾗｰﾈ 全磁力 7点	・2地区とも磁気嵐のため観測値不安定
			A:ﾋﾟﾗﾀｽ式PC-6 ｼｺﾙｽｷｰS61A ｳｲﾙﾄﾞRC10(極地研所属)	P:空中写真 撮影期間:1982/1/20 かぶと岩 縮尺1:34,000、2ｺｰｽ、24枚 新南岩 縮尺1:34,000、3ｺｰｽ、30枚 ｼｶﾞｰﾚﾝ 縮尺1:34,000、1ｺｰｽ、8枚	
	地球物理 *阿部 馨	天文 三角 辺長 水準 重力 地磁気 刺針	T:ｳｲﾙﾄﾞT2 HP3808A ｾｲｺｰｸｫｰﾂ	T:基準点測量 ・観測期間:'82/8/5～11/4の内9日間 ﾗﾝｸﾞﾎﾌﾟﾃﾞ沖諸島 天測点 1点、基準点 4点(天測点含む)、 測距 6辺、測角 7点、刺針 5点 ・観測期間:'82/7/28 地学棟重力点(B・L・H観測)	
			L:ｳｲﾙﾄﾞN3 ｳｲﾙﾄﾞｰ等標尺	L:水準測量 ・観測期間:'82/1/31～2/2 及び'83/1/16～1/19 東ｵﾝｸﾞﾙ島 観測 8.2km、埋標 3点、刺針 8点	・基準重力点、地学棟重力点、天測点、験潮所水準点へも取付「南極資料№83」
			G:ﾗｺｽﾄ重力計 M:ﾌﾟﾛﾄﾝ磁力計	G:重力測量 ・観測期間:'82/10/1～10/2 ﾗﾝｸﾞﾎﾌﾟﾃﾞ沖諸島 基準点 5点 ・観測期間:'83/1/5 東ｵﾝｸﾞﾙ島 地学棟重力点、基準点 3点	
第24次 1982 ～1984	測地 豊田友夫	天文 三角 辺長 地磁気 簡易験潮 刺針	T:ｳｲﾙﾄﾞT2 ﾍﾟﾝﾀｯｸｽPM-81	T:基準点測量 ・観測期間:'83/1/17～18 ｴｲﾝｽﾄｰｲﾝｹﾞﾝ島 天測点 1点、基準点 3点(天測点含む) 測距 3辺、 測角 3点(刺針含む) 簡易験潮 1ヶ所	№2401、2402、2403
				・観測期間:'83/2/13 ﾌﾟﾗｲﾄﾞ湾30ﾏｲﾙ地点 天測 1ヶ所	・雪原のため埋標なし B＝70° 53′ 13.6″ S L＝23° 47′ 6.6″ E H＝ 370m(気圧計による)
			M:ﾌﾟﾛﾄﾝ磁力計	M:地磁気測量 ・観測期間:1983/1/20～1/21 ｽﾄﾗﾝﾆｯﾊﾟ 全磁力 4点(刺針は全磁力含む6点) ・観測期間:'83/1/17～18 ｴｲﾝｽﾄｰｲﾝｹﾞﾝ島 全磁力 3点 ・観測期間:'83/1/10～12 ﾙﾝﾄﾞﾎﾞｰｸｽﾍｯﾀ 全磁力 3点 全磁力 3点(刺針は全磁力含む6点) ・観測期間:'83/1/25～1/27 ﾗﾝｸﾞﾎﾌﾟﾃﾞ 全磁力 1点	№231、232、238、tent site ・ｽﾄﾗﾝﾆｯﾊﾟ以外は、磁気嵐のため観測値不安定
	雪氷 *磯部民夫	空中写真 人工衛星 三角 辺長 刺針	A:ｼｺﾙｽｷｰS-61A ｾｽﾅ185 ｳｲﾙﾄﾞRC-9	P:空中写真 撮影期間:1983/1/12～12/22 ｲﾝﾎﾌﾟﾃﾞ 4ｺｰｽ、145km、52枚 ｽﾄﾗﾝﾆｯﾊﾟ 1ｺｰｽ、28km、13枚 ﾘｭﾂｵ･ﾎﾙﾑ湾21ｺｰｽ、860km349枚 たま岬 3ｺｰｽ、161km、67枚	縮尺:1:34,000 縮尺:1:34,000 縮尺:1:34,000 縮尺:1:30,000

隊次 年次	隊員名 *印は越冬	測量等 の種類	主な使用機器等 A:航空機、P:空中写真、T:基準点 G:重力、M:地磁気、L:水準、V:VLBI、R:GPS連続観測、K:GPS固定点、H:露岩変動、O:その他	観測内容及び主な成果等 P:空中写真撮影、T:基準点測量 G:重力測量、M:地磁気測量、L:水準測量、V:VLBI測量、R:GPS連続観測(保守を含む)、K:GPS固定点保守、H:露岩変動測量、O:その他	備　　考
			T:ｳｲﾙﾄﾞT2 HP3808A JMR-4A	T:基準点測量 ・観測期間:'83/11/27～12/2 セールロンダーネ山地東部 JMR・方位観測点　2点 基準点　2点 補点　5点 測距　2辺 測角　6点 刺針(第22次隊撮影写真)　4点	・変換ﾊﾟﾗﾒｰﾀ WGS72→測地基準系1967 DX＝- 292.82m DY＝　227.49 DZ＝-　29.93 天測点(昭和基地)においてJMR観測値(1980年極地研)より算出。一部の観測は中尾隊員による。
第25次 1983 ～1985	測地 板橋昭房	人工衛星 天文 三角 辺長 重力 地磁気 刺針	T:JMR-4A ｳｲﾙﾄﾞT2 HP3808A	T:基準点測量 ・観測期間:'84/1/11～1/16 ｲﾝﾎﾌﾞﾃﾞ JMR・方位観測点　1点 基準点3点(JMR点含む)、補点 1点 測距 3辺、測角 3点、刺針 4点 ・観測期間:'84/1/17～1/20 ﾍﾞｽﾄﾎﾌﾞﾃﾞ JMR・方位観測点　1点 基準点 2点(JMR点含む)、補点 1点 測距 1辺、測角 2点、刺針 3点 ・観測期間:'84/1/21～1/23 ｱｳｽﾄﾎﾌﾞﾃﾞ 刺針 2点 ・観測期間:'84/2/7～2/23(予察含む) セール・ロンダーネ山脈北部 JMR・方位観測点　2点 基準点 2 点(JMR点含む)、補点 2点 測距 4辺、測角 6点、刺針 3点 ・観測期間:'83/12/24～29 ﾛｹｯﾄ追尾ﾚｰﾀﾞｰｻｲﾄ(B・L・H観測)	・シール岩、ｱｳｽﾄｶﾝﾊﾟﾈ
			G:ﾗｺｽﾄ重力計	G:重力測量 ・観測期間:'83/12/24～25 東ｵﾝｸﾞﾙ島地区 基準点　5点 ・各寄港地定点観測実施	
			M:ﾌﾟﾛﾄﾝ磁力計	M:地磁気測量 ・ｲﾝﾎﾌﾞﾃﾞ地区:全磁力　3点 ・ﾍﾞｽﾄﾎﾌﾞﾃﾞ地区:全磁力　2点	・地磁気測量は基準点測量と同時に実施 ・昭和基地地磁気変化計と比較観測
第26次 1984 ～1986	測地 鈴木平三	基準点測量 重力 磁気 対空 刺針	T:JMR-4A ｳｲﾙﾄﾞT2 HP3800B HP3808A	T:基準点測量 観測期間: JMR観測　13点 基準点設置　30点 前方交会補点　20点 方位角取付け　18点 対空設置　26点	・セールロンダーネ山地西部
			G:ﾗｺｽﾄ重力計	G:重力測量 重力基準点設置 1点 重力測量　19点	・基準重力点:シール岩
			M:ﾌﾟﾛﾄﾝ磁力計	M:磁気測量 全磁力測量　12点	
	地球物理 *松村正一	極光 地磁気 地震 潮汐 測地	T:JMR-4A ｳｲﾙﾄﾞT2 HP3800B HP3808A	O:その他 ・極光:全天ｶﾒﾗによる極光の運動と形態撮影 ・高感度ﾌｨﾙﾑによる極光の形態と色彩撮影	・昭和基地
			M:ﾌﾟﾛﾄﾝ磁力計 ﾌﾗｯｸｽｹﾞｰﾄ GSI型磁気儀	M:地磁気 地磁気3成分連続観測 絶対観測 地震自動観測	
				T:測地 ・観測期間:'85/10/16～19 ﾍﾞﾙｵｯﾃﾝ　3 点 (№2635、2636、2637) 刺針　13 点 ・ｵﾝｸﾞﾙ諸島等 刺針　37点	・セール・ロンダーネ山地地区と　同時観測
第27次 1985 ～1987	測地 米渓武次	基準点 地磁気 対空標識	T:ｳｲﾙﾄﾞT2 JMR2000 ｳｲﾙﾄﾞDI20	T:基準点測量 ・あすか観測拠点にての測量 JMR観測 基準点設置　27点 JMR観測　5点 金属標設置　20点 前方交会点　7点 対空標識設置　20点	・セール・ロンダーネ山地中央部 №2501

隊次 年次	隊員名 *印は越冬	測量等 の種類	主な使用機器等 A:航空機、P:空中写真、T:基準点 G:重力、M:地磁気、L:水準、V:VLBI、R:GPS連続観測、K:GPS固定点、H:露岩変動、O:その他	観測内容及び主な成果等 P:空中写真撮影、T:基準点測量 G:重力測量、M:地磁気測量、L:水準測量、V:VLBI測量、R:GPS連続観測(保守を含む)、K:GPS固定点保守、H:露岩変動測量、O:その他	備　　考
			M:ﾌﾟﾛﾄﾝ磁力計	M:地磁気測量 全磁力	ｱｳｽﾄｶﾝﾊﾞｰﾈ ﾄｰﾈﾙ ｸﾞﾝﾅｲｻﾞｸｾﾝ ・いずれも不安定につき成果なし
第28次 1986 ～1988	測地 田中幸生	空中写真 基準点 刺針	P:ｳｲﾙﾄﾞRC10 A:ﾋﾟﾗﾀｽ式PC-6 T:ｳｲﾙﾄﾞT2 ｳｲﾙﾄﾞDI20	A:空中写真撮影 撮影期間:'86/12/20～12/26 ｾｰﾙ･ﾛﾝﾀﾞｰﾈ山地中央部及び西部 25ｺｰｽ, 撮影高度6,000m T:基準点測量 基準点補点設置及び刺針 8点	
第29次 1987 ～1989	測地 飯村友三郎	基準点 重力 地磁気 空中写真 刺針	T:基準点測量 ｳｲﾙﾄﾞT2 ｳｲﾙﾄﾞDI20 JKR-4A G:ﾗｺｽﾄ重力計 M:ﾌﾟﾛﾄﾝ磁力計 P:ｳｲﾙﾄﾞRC10(88mm) A:ﾋﾟﾗﾀｽ式PC-6	T:基準点測量 ｾｰﾙ･ﾛﾝﾀﾞｰﾈ山地東部 基準点設置 16点 補点 11点(前方交会点9点含む) JMR観測 3点 対空標識設置 16ヶ所(基準点設置点) G:重力測量 9点 M:地磁気測量 全磁力 5点 A:空中写真撮影 撮影期間:'87/12/21～12/22 ｾｰﾙ･ﾛﾝﾀﾞｰﾈ山地 20ｺｰｽ, 撮影高度6,000m 対空標識設置 16点 刺針 25点	№29-01～29-16
第30次 1988 ～1990	測地 阿部 博	基準点 重力 地磁気 刺針	T:ｳｲﾙﾄﾞT2 ｳｲﾙﾄﾞDI20 ｳｲﾙﾄﾞDI3000 JMR2000 ﾄﾘﾝﾌﾞﾙ4000SX G:ﾗｺｽﾄ重力計 M:ﾌﾟﾛﾄﾝ磁力計	T:基準点測量 ・ｾｰﾙ･ﾛﾝﾀﾞｰﾈ山地南西部 基準点設置 11点 (JMR点2点)基準点設置せず 前方交会点(補点) 12点 対空標識設置 11点 GPS試験観測 1点 刺針 23点 G:重力 ・ｼｰﾙ岩(26-01) 9点 ・東ｵﾝｸﾞﾙ島 2点 M:地磁気測量 ・ｾｰﾙ･ﾛﾝﾀﾞｰﾈ 全磁力 2点	
第31次 1989 ～1991	測地 林 保	基準点 重力 地磁気 刺針	T:ｳｲﾙﾄﾞT2 ｳｲﾙﾄﾞDI3000 ﾄﾘﾝﾌﾞﾙ4000ST G:ﾗｺｽﾄ重力計 M:ﾌﾟﾛﾄﾝ磁力計	T:基準点測量 ・ｾｰﾙ･ﾛﾝﾀﾞｰﾈ山地中央部 基準点設置 11点(GPS) 刺針 4点 ・ｱﾑﾝｾﾞﾝ湾ﾊﾟﾄﾞｰ山 基準点設置 1点(GPS) G:重力測量 ・ｾｰﾙ･ﾛﾝﾀﾞｰﾈ山地中央部 17点 M:地磁気測量 ・ｾｰﾙ･ﾛﾝﾀﾞｰﾈ山地中央部 全磁力 5点	№31-01～31-11 №31-12
第32次 1990 ～1992	測地 海老名頼利	基準点 重力 地磁気 刺針	T:ﾄﾘﾝﾌﾞﾙ4000ST ｳｲﾙﾄﾞT2 DI3000 G:ﾗｺｽﾄ重力計 M:ﾌﾟﾛﾄﾝ磁力計	T:基準点測量 ・ｾｰﾙ･ﾛﾝﾀﾞｰﾈ山地中央部 基準点設置 7点(GPS) 補点設置 1点 G:重力測量 ・ｼｰﾙ岩(26-01) 13点 ・氷床観測 4ｺｰｽ 33点 (ｼﾞｪﾆﾝｸﾞｽ氷河) M:地磁気測量 4点 (全磁力) T:刺針 10点 ﾍﾞｽﾄﾊｳｹﾞﾝ ｽﾄﾙﾊｳｾﾞﾝ	
	測地 *中島最郎	空中写真 標定点測量 対空標識設置 基準点 水準測量 刺針	A:ｳｲﾙﾄﾞRC10(152mm) ｳｲﾙﾄﾞRC10(88mm) ﾋﾟﾗﾀｽ式PC-6 ｾｽﾅ式A185F型	P:空中写真 ・撮影期間:'91/12/6～'92/1/22 ・ｵﾝｸﾞﾙ、ﾗﾝｸﾞﾎﾌﾞﾃﾞ ｶﾗｰ写真 45ｺｰｽ 赤外ｶﾗｰ写真 12ｺｰｽ ・ﾘｭﾂｫ･ﾎﾙﾑ湾 氷床氷沿監視写真 35ｺｰｽ	

隊次 年次	隊員名 *印は越冬	測量等 の種類	主な使用機器等 A:航空機、P:空中写真、T:基準点 G:重力、M:地磁気、L:水準、V:VLBI、R:GPS連続観測、K:GPS固定点、H:露岩変動、O:その他	観測内容及び主な成果等 P:空中写真撮影、T:基準点測量 G:重力測量、M:地磁気測量、L:水準測量、V:VLBI測量、R:GPS連続観測(保守を含む)、K:GPS固定点保守、H:露岩変動測量、O:その他	備　　考
			T:ｳｲﾙﾄﾞT2、HP3820A ｳｲﾙﾄﾞDI20 L:ｳｲﾙﾄﾞN3	T:標定点測量 ・ﾗﾝｸﾞﾎﾌﾟﾃﾞ 図根点設置　2点 対空標識設置　63点 ・ﾈｽｵｲﾔ、東ｵﾝｸﾞﾙ、西ｵﾝｸﾞﾙ、ｵﾝｸﾞﾙ周辺諸島、ﾗﾝｸﾞﾎﾌﾟﾃﾞ 水準点　12点 図根点　2点 T:基準点測量 ・昭和基地 絶対重力点　1点 水準測量　2.3km(33次含む)	
第33次 1991 ～1993	測地 渡邊和夫	基準点測量 水準測量	T:ﾄﾘﾝﾌﾞﾙ4000SST ｳｲﾙﾄﾞT2 ｳｲﾙﾄﾞDI3000 L:ｳｲﾙﾄﾞN3	R:GPS国際共同観測 GPS観測点(SYOW) T:基準点観測 ・東ｵﾝｸﾞﾙ島　8点 ・西ｵﾝｸﾞﾙ島　1点 L:水準測量 GPS点～BM1040　2.3km(32次含む) ・内陸点GPS観測 みずほ基地まで、GPS点　7点	・GPS観測点(SYOW)は水準点(23-16) ・GPS観測点(SYOW)基準
	地学 藤原　智	絶対重力観測	G:佐久間式絶対重力計 ﾗｺｽﾄ重力計	G:重力測量 ・絶対重力測定 昭和基地(重力計室)　IAGBN(A)点 重力鉛直勾配観測 ・重力測量 重力基準点　4点	
第34次 1992 ～1994	測地 生巣国久	基準点 空中写真 重力 地磁気	R:ﾄﾘﾝﾌﾞﾙ4000SST	R:GPS国際共同観測 GPS観測点(SYOW) ・観測期間:'93/1/20～2/2 GPS点連続観測＋GPS観測(改測) ｽｶﾙﾌﾞｽﾈｽ　4点 ｽｶｰﾚﾝ　4点 ﾌﾞﾚｰﾄﾞﾎﾞｰｸﾞﾆｯﾊﾟ　1点	・GPS観測点(SYOW)基準 ・No.S-0、135、134、210(NO110) ・No.109、SN-6、SN-7、112 ・No.R-6
			A:ｳｲﾙﾄﾞRC10 ﾋﾟﾗﾀｽ式PC-6	G:空中写真 ・撮影期間:'93/1/12～1/17 ｽｶﾙﾌﾞｽﾈｽ ｶﾗｰ空中写真撮影 22ｺｰｽ 撮影高度2,000m 刺針 3点　東ｵﾝｸﾞﾙ島	ｽｶﾙﾌﾞｽﾈｽ
			M:ﾌﾟﾛﾄﾝ磁力計	M:地磁気測量 ・ｽｶﾙﾌﾞｽﾈｽ　2点 ・ｽｶｰﾚﾝ　2点 O:ｱﾑﾝｾﾞﾝ・ｹｰｼｰ湾沿岸調査 (ﾘｰｾﾙﾗﾙｾﾝ、ﾘﾁｬｰﾄﾞｿﾝ湖周辺) GPS観測、刺針作業　1点	・地磁気測量は基準点測量と同時 ・No.S-0、135 ・No.109、SN-7
			G:ﾗｺｽﾄ重力計	G:重力測量 ｽｶﾙｽﾌﾞﾈｽ　1点	・No.S-0
第35次 1993 ～1995	測地 池田尚應	基準点 重力 地磁気 刺針	T:ﾄﾘﾝﾌﾞﾙ4000SST	T:基準点測量(改測) ・ﾊﾟｯﾀﾞ　2点 ・ﾙﾝﾄﾞﾎﾞｰﾌﾞｽﾍｯﾀ　2点 ・ﾗﾝｸﾞﾎﾌﾟﾃﾞ諸島　2点 T:基準点測量(新設) ・ﾗﾝｸﾞﾎﾌﾟﾃﾞ　4点 ・刺針　4点	・GPS観測点(SYOW)基準 ・No.20、21 ・No.156、158 ・No.117、2314 ・No.35-05、35-06、35-07、35-08
				T:復旧測量 ・昭和基地 GPS観測点(SYOW)標識の補修 ・GPS連続観測点調査	・接着部分が浸食していたため復旧した。
			G:ﾗｺｽﾄ重力計	G:重力測量 IAGBN(A)点基準 ﾗﾝｸﾞﾎﾌﾟﾃﾞ　1点 ﾊﾟｯﾀﾞ　2点 ﾙﾝﾄﾞﾎﾞｰﾎﾞｸｽﾍｯﾀ　4点 昭和基地　2点	・No.20、21 ・No.156、157、158、159 振子点、地学棟
			M:ﾌﾟﾛﾄﾝ磁力計	M:地磁気測量 ・ﾗﾝｸﾞﾎﾌﾟﾃﾞ　1点 ・ﾊﾟｯﾀﾞ　2点 ・ﾙﾝﾄﾞﾎﾞｰﾌﾞｽﾍｯﾀ　2点	・No.35-07 ・No.20、21 ・No.156、158
				O:その他 ・内陸旅行隊との共同GPS観測 GPS観測点(SYOW)	・ﾄﾞｰﾑふじ観測拠点の位置決定及び氷床流動速度測定

隊次 年次	隊員名 *印は越冬	測量等 の種類	主な使用機器等 A:航空機、P:空中写真、T:基準点 G:重力、M:地磁気、L:水準、V:VLBI、R:GPS連続観測、K:GPS固定点、H:露岩変動、O:その他	観測内容及び主な成果等 P:空中写真撮影、T:基準点測量 G:重力測量、M:地磁気測量、L:水準測量、V:VLBI測量、R:GPS連続観測(保守を含む)、K:GPS固定点保守、H:露岩変動測量、O:その他	備　　考
第36次 1994 ～1996	測地 山本宏章	絶対重力 基準点	G:FG5(S/N104)絶対重力計 ﾗｺｽﾄ重力計	G:重力測量 ・絶対重力測定 国際絶対重力基準点:IAGBN(A)	
				・重力測量 東ｵﾝｸﾞﾙ島　16点	・IAGBN(A)基準 ・地学棟重力点、天測点、No.1025,1026,1027,1028,1029,1030,1031,1032,1040,23-15, 23-16,23-17
				・験潮所球分体、GPS連続観測点基台 ｵﾒｶﾞ岬　3点 ﾘｰｾﾙﾗﾙｾﾝ　2点	・No.262,264,36-01 ・No.36-02,36-03
			T:ﾄﾘﾝﾌﾞﾙ4000SSE	T:基準点測量(改測)	・GPS観測点(SYOW)基準 ・ｵﾒｶﾞ岬は丸山と協同
				・ｵﾒｶﾞ岬　4点(内新設1点) ・東ｵﾝｸﾞﾙ島　12点	・No.261、262、264、3601 ・No.1027、1028、1029、1030、1031、1032、1040、23-16、23-17、天測点、験潮場球分体
				・ﾘｰｾﾙﾗﾙｾﾝ　3点 簡易験潮(水位計設置)	・No.36-02、36-03、36-04(水位計副標)
	地学 *丸山一司	基準点		T:基準点測量 GPS連続観測点新設	
				R:GPS国際供同観測 GPS連続観測(SYOW)	
				O:その他 内陸旅行での測位	
第37次 1995 ～1997	測地 木村　勲	基準点 重力 地磁気 水準測量 刺針	T:ﾄﾘﾝﾌﾞﾙ4000SSE	T:基準点測量(改測) ・日の出岬　2点 ・ｽｶｰﾚﾝ　2点	・GPS観測点(SYOW)基準 ・No.13-1、13-3 ・No.148、SN-9(37-09)
				・竜宮岬　2点 ・新南岩　2点	・No.1003、1004 ・No.223、224
				T:基準点測量(新設) ・ﾗﾝｸﾞﾎﾌﾞﾃﾞ南部　4点 ・ｽｶﾙﾌﾞｽﾈｽ西部　2点 ・ﾘｰｾﾙﾗﾙｾﾝ　2点 各点とも刺針	・GPS観測点(SYOW)基準 ・No.37-01、37-02、37-03、37-04 ・No.37-05、37-06 ・No.36-04、36-03
			G:ｼﾝﾄﾚｯｸｽ重力計	G:重力測量(改測及び新設) ・ﾗﾝｸﾞﾎﾌﾞﾃﾞ　2点 ・ｽｶﾙﾌﾞｽﾈｽ　1点 ・日の出岬　1点 ・ｽｶｰﾚﾝ　2点	・IAGBN(A)基準 ・ﾗﾝｸﾞ重力点、No.37-02 ・ｽｶﾙ重力点 ・No.13-1 ・ｽｶｰﾚﾝ重力点、No.SN-9(37-09)
			M:ﾌﾟﾛﾄﾝ磁力計	M:地磁気測量(全磁力測定) ・ﾗﾝｸﾞﾎﾌﾞﾃﾞ　1点 ・ｽｶﾙﾌﾞｽﾈｽ　1点 ・日の出岬　1点 ・ｽｶｰﾚﾝ　1点	・No.37-02 ・No.210 ・No.13-1 ・No.SN-9(37-09)
			L:電子ﾚﾍﾞﾙNA3003	L:水準測量 東ｵﾝｸﾞﾙ島　3.4km	
第38次 1996 ～1998	測地 大滝　修	基準点 重力 水準 露岩地域変動	T:ﾄﾘﾝﾌﾞﾙ4000SSE	T:基準点測量(改測) ・ｽｶﾙﾌﾞｽﾈｽ　2点 ・ｽｶｰﾚﾝ　3点	・IGS点(SYOG)基準 *印は24h観測(以下同じ) *No.153、150 *天測点、No.SN-4(38-05)、SN-5
				・ﾗﾝｸﾞﾎﾌﾞﾃﾞ北部　1点 ・ﾗﾝｸﾞﾎﾌﾞﾃﾞ南部　1点 T:基準点測量(新設)	・IGS点(SYOG)基準 ・No.130A ・*No.3702
				・ﾘｰｾﾙﾗﾙｾﾝ　1点 ・ｽｶﾙﾌﾞｽﾈｽ　4点 ・ﾗﾝｸﾞﾎﾌﾞﾃﾞ南部　2点	・No.3801 ・No.3802、3803、3804、3808 ・No.3806、3807
			G:ｼﾝﾄﾚｯｸｽ重力計	G:重力測量 ・ﾘｰｾﾙﾗﾙｾﾝ　基準重力点設置	・ﾘｰｾﾙﾗﾙｾﾝ観測A点
				L:水準測量 ・東ｵﾝｸﾞﾙ島　2.3km	・No.1026-1027、1028-1029、1030-1031-1032-1040
				H:露岩域変動測量 GPS連続点　1点	S16　氷床変動
				R:GPS連続観測点 ﾃﾞｰﾀ管理装置設置:昭和基地	
第39次 1997 ～1999	測地 岩田昭雄	基準点 重力 地磁気 露岩域変動	T:ﾄﾘﾝﾌﾞﾙ4000	T::基準点測量(改測) ・ﾗﾝｸﾞﾎﾌﾞﾃﾞ雪鳥沢　1点 ・ｽｶﾙﾌ ｽﾈｽ　3点 ・東ｵﾝｸﾞﾙ島　3点	・IGS点(SYOG)基準 ・No.37-02　24h ・No.39-01(新設24h)、No.131、133 ・天測点、No.1040、23-16

隊次 年次	隊員名 *印は越冬	測量等 の種類	主な使用機器等 A:航空機、P:空中写真、T:基準点 G:重力、M:地磁気、L:水準、V:VLBI、R:GPS連続観測、K:GPS固定点、H:露岩変動、O:その他	観測内容及び主な成果等 P:空中写真撮影、T:基準点測量 G:重力測量、M:地磁気測量、L:水準測量、V:VLBI測量、R:GPS連続観測(保守を含む)、K:GPS固定点保守、H:露岩変動測量、O:その他	備　　考
				T:基準点測量(新設)及び刺針 ・ﾗﾝｸﾞﾎﾌﾟﾃﾞ雪鳥沢　1点 ・ｽｶﾙﾌﾟｽﾈｽ　　5点 ・ﾄﾅｰ島　　5点	・24h観測点基準 ・№39-03 ・№39-02、39-04、39-05、39-06、39-07 ・№39-08、39-09、39-10、39-11、39-12
			G:ｼﾝﾄﾚｯｸｽ重力計 ﾗｺｽﾄ重力計	G:重力測量 ・ﾄﾅｰ島　4点	・IAGBN基点 ・№39-08、39-09、39-10、39-11
			M:ﾌﾗｯｸｽｹﾞｰﾄDIメーター ﾌﾟﾛﾄﾝ磁力計	M:地磁気測量 ・ﾗﾝｸﾞﾎﾌﾟﾃﾞ雪鳥沢　1点 ・ｽｶﾙﾌﾟｽﾈｽ　　3点	・№3702 ・№3901
				H:露岩域変動測量 ・GPS連続点－S16 R:GPS連続観測ｼｽﾃﾑ更新 ・昭和基地	
第40次 1998 ～2000	測地 安藤　久	基準点 重力 地磁気 刺針 露岩域変動	T:ﾄﾘﾝﾌﾟﾙ4000SSI	T:基準点測量(改測) ・ﾄﾅｰ島　　3点 ・ﾘｰｾﾙﾗﾙｾﾝ　1点	・IGS点(SYOG)基準 ・*№39-08、水位標固定点、39-10 (*は、24h観測の基準観測点) ・水位標固定点(36-04)
				T:基準点測量(改測・新設) ・ｽﾄﾗﾝﾆｯﾊﾟ　　3点 ・ｽｶｰﾚﾝ　　2点 ・ｽｶﾙﾌﾟｽﾈｽ　　2点 ・ﾋﾞﾎﾞｰｸﾞｵｰｻﾈ　　3点　刺針含む ・ﾌﾞﾚｰﾄﾞﾎﾞｰｸﾞﾆｯﾊﾟ　3点　刺針含む ・ﾗﾝｸﾞﾎﾌﾟﾃﾞ(雪鳥沢)　2点	・露岩毎に3時間観測点を基準(＊の点) ・*№232、233、40-03 ・*№SN7、40-01 ・*№39-01、40-02 ・*№40-05、145、144 ・*№40-04、R6、B3 ・*№37-02、固定点
			G:ｼﾝﾄﾚｯｸｽ重力計	G:重力測量 ・ﾄﾅｰ島　　2点 ・ﾘｰｾﾙﾗﾙｾﾝ　　1点 ・ｽﾄﾗﾝﾆｯﾊﾟ　　3点 ・ｽｶｰﾚﾝ　　2点 ・ｽｶﾙﾌﾟｽﾈｽ　　2点 ・ﾋﾞﾎﾞｰｸﾞｵｰｻﾈ　　2点 ・ﾌﾞﾚｰﾄﾞﾎﾞｰｸﾞﾆｯﾊﾟ　1点 ・ﾗﾝｸﾞﾎﾌﾟﾃﾞ(雪鳥沢)　3点	・IAGBN基点 ・№39-08、固定点 ・固定点(36-04) ・№232、233、40-03 ・№SN7、40-01 ・№39-01、40-02 ・№145、40-05 ・№40-04 ・№37-02、39-03、固定点
			M:ﾌﾗｯｸｽｹﾞｰﾄ DIﾒｰﾀｰ ﾌﾟﾛﾄﾝ磁力計	M:地磁気測量 ・ｽﾄﾗﾝﾆｯﾊﾟ　　1点 ・ｽｶｰﾚﾝ　　1点 ・ｽｶﾙﾌﾟｽﾈｽ　　1点 ・ﾋﾞﾎﾞｰｸﾞｵｰｻﾈ　　1点 ・ﾗﾝｸﾞﾎﾌﾟﾃﾞ(雪鳥沢)　1点	・№40-03 ・№40-01 ・№40-02 ・№40-05 ・№39-03
				H:露岩域変動測量　GPS連続点 24時間観測　　3点 2回実施	・№S15、S16、S17　氷床変動S16
				R:GPS連続観測ｼｽﾃﾑ保守	・昭和基地
	地球物理 *福崎順洋	(地学部門) VLBI観測 地球潮汐 地球自由振動の観測 DORIS観測 GPS連続観測 地球潮汐の観測 沿岸露岩域でのGPS測量	V:VLBIｼｽﾃﾑ O:超伝導重力計 O:DORISｼｽﾃﾑ R:TurboRogue SNR-8000 O:ﾗｺｽﾄ重力計 T:Ashtech Z-surveyer G:ﾗｺｽﾄ重力計	V:24時間連続観測 ・昭和基地 O:地球潮汐等:通年連続 ・超伝導重力計及びﾗｺｽﾄ重力計他 T:地学部門設置ボルト点5ヶ所 ・西之浦 ・とっつき岬 ・ﾗﾝｸﾞﾎﾌﾟﾃﾞ雪鳥沢 ・ｽｶﾙﾌﾟｽﾈｽ(きざはし浜) ・ｽｶｰﾚﾝ	・12回 ・16回
第41次 1999 ～2001	測地 筒井俊洋	基準点測量 露岩域変動測量 GPS固定観測装置設置 空中写真撮影	T:ﾄﾘﾝﾌﾟﾙ4000SSI	H:露岸変動測量 ・氷床流動観測　　3点 K:GPS固定観測装置設置 ・観測期間:'00/1/12～1/18 ・ﾗﾝｸﾞﾎﾌﾟﾃﾞ雪鳥沢西部　1ヶ所	・№S-15、S-16、S-17, №3702

隊次 年次	隊員名 *印は越冬	測量等 の種類	主な使用機器等 A:航空機、P:空中写真、T:基準点 G:重力、M:地磁気、L:水準、V:VLBI、R:GPS連続観測、K:GPS固定点、H:露岩変動、O:その他	観測内容及び主な成果等 P:空中写真撮影、T:基準点測量 G:重力測量、M:地磁気測量、L:水準測量、V:VLBI測量、R:GPS連続観測(保守を含む)、K:GPS固定点保守、H:露岩変動測量、O:その他	備　　考
			A:ﾋﾟﾗﾀｽ式PC-6 P:ｳｲﾙﾄﾞRC10(152mm)	A:カラー空中写真撮影 ・撮影期間:'00/1/19～1/22 ・ｵﾝｸﾞﾙ島 ・ﾌﾞﾙｰﾄﾞﾎﾞｰｸﾞﾆｯﾊﾟ ・ｽｶﾙﾌﾟｽﾈｽ ・ﾃｰﾚﾝ氷河 ・ｽｶｰﾚﾝ及び白瀬氷河 ・昭和基地 合計＝22ｺｰｽ、205枚、 1299.2km2	
第42次 2000 ～2002	測地 木村　勲	絶対重力 基準点 露岩域変動 刺針	G:FG5(S/N203)絶対重力計 ﾗｺｽﾄ重力計 T:ﾄﾘﾝﾌﾞﾙ4000SSI T:ﾄﾘﾝﾌﾞﾙ4000	G:絶対重力測定 ・昭和基地　IAGBN(A)点 T:基準点測量(改測・新設) ・ｽｶﾙﾌﾟｽﾈｽ(きざはし浜) 2点 ・　〃　(なまず池)　2点 ・ｽｶｰﾚﾝ　3点 ・ﾙﾝﾄﾞﾎﾞｰｸｽﾍｯﾀ　2点 ・ｽﾄﾗﾝﾆｯﾊﾟ　2点 ・ﾄﾅｰ島　1点 ・ﾘｰｾﾙﾗﾙｾﾝ　1点 H:露岩域変動測量(GPS連続観測) 氷床流動観測 刺針作業(基準点測量と同時に実施) ｽｶｰﾚﾝ　4点 ﾙﾝﾄﾞﾎﾞｰｸｽﾍｯﾀ　3点 ｽﾄﾗﾝﾆｯﾊﾟ　2点 K:GPS固定点ﾃﾞｰﾀ回収及び保守	・国土地理院3回目の絶対重力測定 ・IGS点(SYOG)基準 ・No.39-01、SR-1 ・No.42-01、135 ・No.SN-7、4202(旧SN-5) ・No.156、159 ・No.234、232 ・No.39-08 ・No.36-04 S-16 、 ・No.SN-7、4202(旧SN-5)、SN-4、SN-6 ・No.156、159、158 ・No.234、232 ・ﾗﾝｸﾞﾎﾌﾟﾃﾞ雪鳥沢
第43次 2001 ～2003	測地 松尾健一	基準点 重力 地磁気 露岩域変動 水準	T:ﾄﾘﾝﾌﾞﾙ4000SSI L:電子ﾚﾍﾞﾙNA3003 G:ｼﾝﾄﾚｯｸｽ重力計 M:ﾌﾟﾛﾄﾝ磁力計	T:基準点測量 ・観測期間:'02/1/2～1/3 明るい岬　2点 ・観測期間:　02/1/4～1/6 奥岩　3点 ・観測期間:'02/1/9 ﾙﾝﾊﾟ　1点 ・観測期間:'02/2/7～2/9 ﾗﾝｸﾞﾎﾌﾟﾃﾞ諸島　4点 L:水準測量 ・観測期間:'02/1/21～1/24 東ｵﾝｸﾞﾙ島　5.1km G:重力測量 ・明るい岬　2点(基準点に同じ) ・奥岩　3点(基準点に同じ) ・ﾙﾝﾊﾟ　1点(基準点に同じ) ・昭和基地　IAGBN(A)点観測 12/29、1/8、1/11の3日間実施 M:地磁気測量 ・明るい岬　1点 ・奥岩　1点 R:GPS連続観測装置ｼｽﾃﾑ更新 K:GPS固定観測点ﾃﾞｰﾀ回収・保守 H:露岩域変動測量 24時間観測　3点	・IGS点(SYOG)基準 ・明るい岬は対空標識設置含む ・No.198、4301 ・No.1012、1013、4302 ・No.108 ・No.124、2311、2313、2312 ・初めて航空機による出国11/28 (成田→ﾊﾟｰｽ) ・基準点測量と同時に実施 ・基準点測量と同時に実施 ・No.43-01 ・No.43-02 ・ﾗﾝｸﾞﾎﾌﾟﾃﾞ雪鳥沢 ・No.S15、S16、S17
第44次 2002 ～2004	測地 山本嘉武	空中写真撮影 対空標識設置 基準点	A:ﾋﾟﾗﾀｽ式PC-6 ｳｲﾙﾄﾞRC10(152mm) T:ﾄﾘﾝﾌﾞﾙ4000SSI, 5700 P:空中写真撮影は実施できず。	T:対空標識 ・かすみ岩　1点 T:基準点測量(改測・新設) ・観測期間:'00/1/12～2/14 ・ｽｶﾙﾌﾟｽﾈｽ　1点 ・西ｵﾝｸﾞﾙ島　9点 ・ｵﾝｸﾞﾙｶﾙﾍﾟﾝ　1点 ・かすみ岩　5点 H:露岩域変動測量 ・GPS連続点基準24時間観測　3点 R:GPS連続観測ｼｽﾃﾑ保守 K:GPS固定観測点ﾃﾞｰﾀ回収・保守	・誘導路、滑走路としている海氷が溶けたため撮影中止 ・No.44-2 ・No.44-1 ・No.7～10,31～35 ・No.114 ・No.1021～1024,44-2 ・No.S15,S16,S17 昭和基地 ﾗﾝｸﾞﾎﾌﾟﾃﾞ雪鳥沢

隊次 年次	隊員名 *印は越冬	測量等 の種類	主な使用機器等 A:航空機、P:空中写真、T:基準点 G:重力、M:地磁気、L:水準、V:VLBI、R:GPS連続観測、K:GPS固定点、H:露岩変動、O:その他	観測内容及び主な成果等 P:空中写真撮影、T:基準点測量 G:重力測量、M:地磁気測量、L:水準測量、V:VLBI測量、R:GPS連続観測(保守を含む)、K:GPS固定点保守、H:露岩変動測量、O:その他	備　　考
第45次 2003 ～2005	測地 平岡喜文	絶対重力 空中写真撮影 基準点 RTK-GPS試験 ALOS精度検証	G:FG5(S/N203)絶対重力計 ZLS重力計 A:ﾋﾟﾗﾀｽ式PC-6 ｳｲﾙﾄﾞRC10(152mm) T:ﾄﾘﾝﾌﾞﾙ4000SSI, 5700	G:絶対重力測定 ・昭和基地 IAGBN(A)点 A:ｶﾗｰ空中写真撮影 ・観測期間:'03/12/22～24 ・ｵﾝｸﾞﾙ諸島 ・たま岬周辺 ・明るい岬周辺 ・明るい岬 ・ｵﾒｶﾞ諸島 ・奥岩 ・昭和基地 合計15コース, 173枚 T:基準点測量 ・ﾗﾝｸﾞﾎﾌﾞﾃﾞ 2点 H:露岩域変動測量 ・GPS連続点基準24時間観測 3点 R:GPS連続観測装置保守 K:GPS固定観測点ﾃﾞｰﾀ回収・保守 T:RTK-GPS試験観測(昭和基地、S16) O:ALOS精度検証(昭和基地)	
第46次 2004 ～2006	測地 森田和幸	基準点 重力 地磁気 露岩域変動	T:ﾄﾘﾝﾌﾞﾙ4000SSI G:ｼﾝﾄﾚｯｸｽ重力計 M:ﾌﾟﾛﾄﾝ磁力計	T:基準点測量 ・かぶと岩 3点 ・あけぼの岩 3点 ・二番岩 2点 ・天文台岩 3点 ・ｽｶﾙﾋﾞｰｸﾊﾙｾﾝ 3点 G:重力測量 ・昭和基地 IAGBN(A)点観測 ・かぶと岩 1点 ・あけぼの岩 1点 ・天文台岩 1点 ・ｽｶﾙﾋﾞｰｸﾊﾙｾﾝ 2点 M:地磁気測量 ・ｽｶﾙﾋﾞｰｸﾊﾙｾﾝ 2点 H:露岩域変動測量 GPS連続点基準24時間観測 3点 R:GPS連続観測ｼｽﾃﾑ保守 K:GPS固定観測点ﾃﾞｰﾀ回収・保守	・IGS点(SYOG)基準 ・№46-02～46-04 ・№22-02,22-03,22-13 ・№21-02,21-04 ・№46-05,22-12,22-14 ・№46-06,106,143 ・基準点測量と同時に実施 ・№46-02 ・№22-03 ・№22-14,22-12,46-05 ・№46-06,106 ・№46-06,106 ・S15,S16,S17 ﾗﾝｸﾞﾎﾌﾞﾃﾞ雪鳥沢
第47次 2005 ～2007	測地 岡村盛司	基準点 地磁気 水準 露岩域変動 RTK-GPS試験 ALOS精度検証	T:ﾄﾘﾝﾌﾞﾙ4000SSI, 5700 M:ﾌﾟﾛﾄﾝ磁力計 L:電子ﾚﾍﾞﾙNA3003	T:基準点測量 ・ﾙﾝﾄﾞﾎﾞｰｸｽｺﾗﾈ 5点(刺針含む) ・ﾃｰﾚﾝ 3点(刺針含む) ・向岩 1点(刺針含む) ・ｵﾝｸﾞﾙｶﾞﾙﾃﾝ 1点(刺針含む) ・東西ﾃｵｲﾔ 2点(刺針含む) M:地磁気測量 ・ﾙﾝﾄﾞﾎﾞｰｸｽｺﾗﾈ 1点 ・ﾃｰﾚﾝ 2点 L:水準測量 ・東西ｵﾝｸﾞﾙ島 13km H:露岩域変動測量:GPS連続点基準24時間観測 3点 R:GPS連続観測装置保守 K:GPS固定観測点データ回収・保守 T:RTK-GPS試験観測(昭和基地、S16) O:ALOS精度検証 ・ﾙﾝﾄﾞﾎﾞｰｸｽｺﾗﾈ 3点 ・ﾃｰﾚﾝ 2点 ・ 向岩 1点 ・ ｵﾝｸﾞﾙｶﾞﾙﾃﾝ 1点 ・ 東西ﾃｵｲﾔ 2点	・№182,183,185,188,190 ・№122,125,126 ・№142 ・№115 ・№103,113 ・№188 ・№125,126 ・№S15,S16,S17 ﾗﾝｸﾞﾎﾌﾞﾃﾞ雪鳥沢 ・ｿｰﾗｰﾊﾟﾈﾙ交換(東側) ・ｷｬﾊﾟｼﾀ増設

隊次 年次	隊員名 *印は越冬	測量等 の種類	主な使用機器等 A:航空機、P:空中写真、T:基準点 G:重力、M:地磁気、L:水準、V:VLBI、R:GPS連続観測、K:GPS固定点、H:露岩変動、O:その他	観測内容及び主な成果等 P:空中写真撮影、T:基準点測量 G:重力測量、M:地磁気測量、L:水準測量、V:VLBI測量、R:GPS連続観測(保守を含む)、K:GPS固定点保守、H:露岩変動測量、O:その他	備　　考
第48次 2006 ～2008	測地 白井宏樹	基準点 重力 地磁気 露岩域変動 ALOS精度検証	T:ﾄﾘﾝﾌﾞﾙ4000SSE, R7	T:基準点測量 ・ｽｶｰﾚﾝ　2点(刺針を含む) ・ﾊﾟｯﾀﾞ島　3点(刺針を含む) ・ﾎﾉｰﾙ奥岩　2点(刺針を含む) ・ｲﾝﾎﾞﾃﾞ　4点(刺針を含む) ・ｱｳｽﾄﾎﾞﾃﾞ　2点(刺針を含む) ・ﾎﾞﾂﾝﾇｰﾃﾝ　1点	・№SN-7, 48-01 ・№20, 21, 48-02 ・№48-03, 48-04 ・№25-01, 25-02, 25-03, 48-05 ・№JARE16, 48-06 ・№48-07
			G:ﾗｺｽﾄ重力計	G:重力測量 ・ﾗﾝｸﾞﾎﾞﾃﾞ　1点 ・ｽｶｰﾚﾝ　4点 ・ﾊﾟｯﾀﾞ島　2点 ・ﾎﾉｰﾙ奥岩　1点 ・ｲﾝﾎﾞﾃﾞ　4点 ・ｱｳｽﾄﾎﾞﾃﾞ　2点	・№39-03 ・№SN-6, SN-7, 37-09, 48-01 ・№20, 48-02 ・№48-03 ・№25-01, 25-02, 25-03, 48-05 ・№JARE16, 48-06
			M:ﾌﾟﾛﾄﾝ磁力計 ﾌﾗｯｸｽｹﾞｰﾄ伏角偏角磁気儀 ﾌﾗｯｸｽｹﾞｰﾄ三軸磁力計	・昭和基地　1点 M:地磁気測量 ・ﾗﾝｸﾞﾎﾞﾃﾞ　2点 ・ｽｶｰﾚﾝ　4点 ・ﾊﾟｯﾀﾞ島　2点 ・ﾎﾉｰﾙ奥岩　1点 ・ｲﾝﾎﾞﾃﾞ　3点 ・ｱｳｽﾄﾎﾞﾃﾞ　2点	・IAGBN(A) ・№37-02, 39-03 ・№SN-6, SN-7, 37-09, 48-01 ・№20, 48-02 ・№48-03 ・№25-01, 25-02, 48-05 ・№JARE16, 48-06
				R:GPS連続観測点保守	・昭和基地
				K:GPS固定観測点データ回収・保守	・ﾗﾝｸﾞﾎﾞﾃﾞ雪鳥沢
			H:ﾄﾘﾝﾌﾞﾙ4000SSE, R7	H:露岩域変動測量 24時間観測　3点	・S15, S16, S17
			O:ﾄﾘﾝﾌﾞﾙ4000SSE, R7	O:ALOS精度検証 (対空標識設置) ・ﾗﾝｸﾞﾎﾞﾃﾞ　1点 ・ｽｶｰﾚﾝ　1点 ・ﾊﾟｯﾀﾞ島　1点 ・ﾎﾉｰﾙ奥岩　1点 ・ｲﾝﾎﾞﾃﾞ　1点 ・ｱｳｽﾄﾎﾞﾃﾞ　1点 ・ﾎﾞﾂﾝﾇｰﾃﾝ　1点 (参照点位置決定) ・ﾗﾝｸﾞﾎﾞﾃﾞ　1点 ・ｽｶｰﾚﾝ　1点 ・昭和基地　2点	 ・№47対標 ・№48-01 ・№48-02 ・№48-03 ・№48-05 ・№48-06 ・№48-07 ・雪鳥沢小屋 ・大池ｶﾌﾟｰｽ ・電離層棟,地磁気変化計室

別表－２　日本が命名した南極地名一覧

地名	読み	分類1	分類2	固有名詞	ローマ字普通名詞	ローマ字	英語普通名詞	英語名(参考)	命名年	地域
赤岩	あかいわ	岩	岩	Aka	Iwa	Aka Iwa	Rock	Aka Rock	1981.11	プリンスオラフ海岸
赤壁	あかかべ	山	壁	Aka-kabe	Kabe	Aka-kabe	Bluff	Aka-kabe Bluff	1979.03	やまと山脈
赤岩山	あかいわやま	山	山	Akaiwa	Yama	Akaiwa Yama	Mt.	Mt. Akaiwa	1989.11	セール・ロンダーネ
明るい岬	あかるいみさき	岬	岬(Point)	Akarui	Misaki	Akarui Misaki	Point	Akarui Point	1962.10	プリンスオラフ海岸
あけび池	あけびいけ	湖池	湖池	Akebi	Ike	Akebi Ike	Lake	Lake Akebi	1972.06	宗谷海岸
あけぼの氷河	あけぼのひょうが	氷河	氷河	Akebono	Hyôga	Akebono Hyôga	Glacier	Akebono Glacier	1963.05	プリンスオラフ海岸
あけぼの岩	あけぼのいわ	岩	岩	Akebono	Iwa	Akebono Iwa	Rock	Akebono Rock	1963.05	プリンスオラフ海岸
アンテナ島	あんてなじま	島	島	Antena	Zima	Antena Zima	Island	Antena Island	1972.06	宗谷海岸
青氷湾	あおごおりわん	入江・湾	湾	Aogôri	Wan	Aogôri Wan	Bay	Aogôri Bay	1972.06	宗谷海岸
足跡島	あしあとじま	島	島	Asiato	Zima	Asiato Zima	Rock	Asiato Rock	1981.11	プリンスハラル海岸
アウストホブデ北岩	あうすとほぶできたいわ	岩	岩	Austhovde-kita	Iwa	Austhovde-kita Iwa	Rock	Austhovde-kita Rock	1985.03	プリンスハラル海岸
アウストホブデ南岩	あうすとほぶでみなみいわ	岩	岩	Austhovde-minami	Iwa	Austhovde-minami Iwa	Rock	Austhovde-minami Rock	1985.03	プリンスハラル海岸
アウストホブデ中岩	あうすとほぶでなかいわ	岩	岩	Austhovde-naka	Iwa	Austhovde-naka Iwa	Rock	Austhovde-naka Rock	1985.03	プリンスオラフ海岸
あざらし入江	あざらしいりえ	入江・湾	入江	Azarasi	Irie	Azarasi Irie			1988.11	宗谷海岸
あざらし岩	あざらしいわ	岩	岩	Azarasi	Iwa	Azarasi Iwa	Rock	Azarasi Rock	1962.10	宗谷海岸
あずき島	あずきじま	島	島	Azuki	Zima	Azuki Zima	Island	Azuki Island	1962.10	宗谷海岸
望氷台	ぼうひょうだい	台地	台地	Bôhyô	Dai	Bôhyô Dai	Heights	Bôhyô Heights	1973.11	プリンスオラフ海岸
ぼうず山	ぼうずやま	山	峰	Bôzu	Yama	Bôzu Yama	Peak	Bôzu Peak	1962.10	宗谷海岸
弁天島	べんてんじま	島	島	Benten	Zima	Benten Zima	Island	Benten Island	1962.10	宗谷海岸
ベルオッデン大池	べるおっでんおおいけ	湖池	湖池	Berrodden	Ôike	Berrodden Ôike	Lake	Berrodden Lake	1988.11	宗谷海岸
仏像平	ぶつぞうだいら	台地	台地	Butuzô	Daira	Butuzô Daira	Heights	Butuzô Heights	1989.11	セール・ロンダーネ
びょうぶ岩	びょうぶいわ	岩	岩	Byôbu	Iwa	Byôbu Iwa	Rock	Byôbu Rock	1962.10	プリンスオラフ海岸
びょうぶ長尾根	びょうぶながおね	山	尾根	Byôbu	Nagaone	Byôbu Nagaone	Ridge	Byôbu Ridge	1981.11	ベルジカ山脈
ドーム岩	どーむいわ	岩	岩	Dômu	Iwa	Dômu Iwa	Rock	Dômu Rock	1981.11	プリンスオラフ海岸
台山	だいやま	山	山	Dai	Yama	Dai Yama	Mount	Mount Dai	1981.11	ベルジカ山脈
大理池	だいりいけ	湖池	湖池	Dairi	Ike	Dairi Ike	Lake	Lake Dairi	1972.06	宗谷海岸
だるま岩	だるまいわ	岩	岩	Daruma	Iwa	Daruma Iwa	Rock	Daruma Rock	1962.10	プリンスオラフ海岸
どんぶり池	どんぶりいけ	湖池	池	Donburi	Ike	Donburi Ike	Pond	Donburi Pond	1981.11	プリンスオラフ海岸
えぼし池	えぼしいけ	湖池	湖池	Ebosi	Ike	Ebosi Ike	Lake	Lake Ebosi	1972.06	宗谷海岸
ふじ海底谷	ふじかいていこく	海底地形	海底谷	Fuji	Kaitei-koku	Fuji Kaitei-koku	Submarine Valley	Fuji Submarine Valley	1989.11	リュツオ・ホルム湾
福島岳	ふくしまだけ	山	山	Fukushima	Dake	Fukushima Dake	Mt.	Mt. Fukushima	1961.02	やまと山脈
がら岳	がらだけ	山	山	Gara-Dake	Dake	Gara-Dake	Mount	Mount Gara	1981.11	ベルジカ山脈
碁盤目岩	ごばんめいわ	岩	岩	Gobanme	Iwa	Gobanme Iwa	Rock	Gobanme Rock	1962.10	プリンスオラフ海岸
五色氷河	ごしきひょうが	氷河	氷河	Gosiki	Hyôga	Gosiki Hyôga	Glacier	Gosiki Glacier	1979.03	やまと山脈
グローパ東台	ぐろーぱひがしだい	台地	台地	Gropa Higasi	Dai	Gropa Higasi Dai	Heights	Gropa Higasi Heights	1989.11	セール・ロンダーネ
仰天岳	ぎょうてんだけ	山	山	Gyôten	Dake	Gyôten Dake	Mount	Mount Gyôten	1979.03	やまと山脈
はえの岩	はえのいわ	岩	岩	Hae-no-iwa	Iwa	Hae-no-iwa	Rocks	Hae Rocks	1979.03	やまと山脈
ハムナ氷瀑	はむなひょうばく	氷瀑	氷瀑	Hamna	Hyôbaku	Hamna Hyôbaku	Icefall	Hamna Icefall	1963.05	宗谷海岸
蜂の巣山	はちのすやま	山	峰	Hatinosu	Yama	Hatinosu Yama	Peak	Hatinosu Peak	1963.05	宗谷海岸
初島	はつしま	島	島	Hatusima	Sima	Hatusima	Island	Hatusima Island	1962.10	宗谷海岸
葉月氷河	はづきひょうが	氷河	氷河	Hazuki	Hyôga	Hazuki Hyôga	Glacier	Hazuki Glacier	1988.11	宗谷海岸
平頭氷河	へいとうひょうが	氷河	氷河	Heitô	Hyôga	Heitô Hyôga	Glacier	Heitô Glacier	1973.11	宗谷海岸
平頭山	へいとうざん	山	山	Heitô	Zan	Heitô Zan	Mt.	Mt. Heitô	1972.06	宗谷海岸
左島	ひだりじま	島	島	Hidari	Zima	Hidari Zima	Island	Hideri-zima Island	1972.06	宗谷海岸
東ハムナ池	ひがしはむないけ	湖池	湖池	Higasi-Hamna	Ike	Higasi-Hamna Ike	Lake	Lake Higasi-Hamna	1973.11	宗谷海岸
東はなれ岩	ひがしはなれいわ	岩	岩	Higasi-hanare	Iwa	Higasi-hanare Iwa	Rock	Higasi-hanare Rock	1979.03	やまと山脈
東長岩氷河	ひがしながいわひょうが	氷河	氷河	Higasi-naga-iwa	Hyôga	Higasi-naga-iwa Hyôga	Glacier	Higasi-naga-iwa Glacier	1963.05	プリンスオラフ海岸
東オングル島	ひがしおんぐるとう	島	島	Higasi-Onguru	Tô	Higasi-Onguru Tô			1957.00	宗谷海岸
東テオイヤ	ひがしておいや	テオイヤ	テオイヤ	Higasi-Teøya	Teoiya	Higasi-Teøya	Teöya	East Teöya	1977.03	宗谷海岸
東やまとヌナターク	ひがしやまとぬなたーく	山	ヌナタック	Higasi-Yamato	Nunatak	Higasi-Yamato Nunatak	Nunataks	Higasi-Yamato Nunataks	1981.11	やまと山脈
東雪鳥池	ひがしゆきどりいけ	湖池	湖池	Higasi-yukidori	Ike	Higasi-yukidori Ike	Lake	Lake Higasi-yukidori	1973.11	宗谷海岸
控え岩	ひかえいわ	岩	岩	Hikae	Iwa	Hikae Iwa	Rock	Hikae Rock	1963.05	プリンスオラフ海岸
ひく岩	ひくいわ	岩	岩	Hiku-iwa	Iwa	Hiku-iwa	Rock	Hiku-iwa Rock	1979.03	やまと山脈
ひみ山	ひみやま	山	峰	Himi	Yama	Himi Yama	Peak	Himiyama Peak	1973.11	宗谷海岸
日の出岬	ひのでみさき	岬	岬(Cape)	Hinode	Misaki	Hinode Misaki	Cape	Cape Hinode	1962.10	プリンスオラフ海岸
日の出山	ひのでやま	山	峰	Hinode	Yama	Hinode Yama	Peak	Hinode Peak	1962.10	プリンスオラフ海岸
広江池	ひろえいけ	湖池	湖池	Hiroe	Ike	Hiroe Ike	Lake	Lake Hiroe	1973.11	宗谷海岸
広江岬	ひろえみさき	岬	岬(Point)	Hiroe	Misaki	Hiroe Misaki	Point	Hiroe Point	1973.11	宗谷海岸
広江山	ひろえやま	山	山	Hiroe	Yama	Hiroe Yama	Mt.	Mt. Hiroe	1973.11	宗谷海岸
人さし指尾根	ひとさしゆびおね	山	尾根	Hitosasiyubi-one	One	Hitosasiyubi-one	Ridge	Hitosasiyubi Ridge	1988.11	セール・ロンダーネ
ひよこ島	ひよこじま	島	島	Hiyoko	Zima	Hiyoko Zima	Island	Hiyoko Island	1972.06	宗谷海岸
ホノール氷河	ほのーるひょうが	氷河	氷河	Honnør	Hyôga	Honnør Hyôga	Glacier	Honnör Glacier	1963.05	宗谷海岸

地名	読み	分類1	分類2	固有名詞	ローマ字普通名詞	ローマ字	英語普通名詞	英語名(参考)	命名年	地域
ホノール海底谷	ほのーるかいていこく	海底地形	海底谷	Honnør	Kaitei-koku	Honnør Kaitei-koku	Submarine Valley	Honnör Submarine Valley	1989.11	リュツォ・ホルム湾
ホノール奥池	はのーるおくいけ	湖池	湖池	Honnør	Oku-ike	Honnør Oku-ike	Lake	Honnör Oku-ike Lake	1981.11	宗谷海岸
ホノール奥岩	ほのーるおくいわ	岩	岩	Honnør	Oku-iwa	Honnør Oku-iwa	Rock	Honnör Oku-iwa Rock	1981.11	宗谷海岸
袋浦	ふくろうら	入江・湾	入江(Cove)	Hukuro	Ura	Hukuro Ura	Cove	Hukuro Cove	1972.06	宗谷海岸
舟形岩	ふながたいわ	岩	岩	Hunagata	Iwa	Hunagata Iwa	Rock	Hunagata Rock	1977.03	プリンスオラフ海岸
舟くぼ谷	ふなくぼだに	沢・谷	谷	Hunakubo	Dani	Hunakubo Dani	Valley	Hunakubo Valley	1989.11	セール・ロンダーネ
舟底池	ふなぞこいけ	湖池	湖池	Hunazoko	Ike	Hunazoko Ike	Lake	Lake Hunazoko	1972.06	宗谷海岸
二子山	ふたごやま	山	山	Hutago	Yama	Hutago Yama	Mt.	Mt. Hutago	1972.06	宗谷海岸
二股谷	ふたまただに	沢・谷	谷	Hutamata	Dani	Hutamata Dani	Valley	Hutamata Valley	1989.11	セール・ロンダーネ
二つ岩	ふたついわ	岩	岩	Hutatu	Iwa	Hutatu Iwa	Rock	Hutatu-iwa Rock	1972.06	プリンスハラル海岸
不時着氷原	ふじちゃくひょうげん	氷原	氷原	Huzityaku	Hyôgen	Huzityaku Hyôgen	Ice Field	Huzityaku Ice Field	1981.11	ベルジカ山脈
いん石氷原	いんせきひょうげん	氷原	氷原	Inseki	Hyôgen	Inseki Hyôgen	Ice Field	Meteorite Ice Field	1975.11	やまと山脈
いぬい山	いぬいやま	山	峰	Inui	Yama	Inui Yama	Peak	Inui Peak	1989.11	セール・ロンダーネ
石立氷瀑	いしだちひょうばく	氷瀑	氷瀑	Isidati	Hyôbaku	Isidati Hyôbaku	Icefall	Isidati Icefall	1981.11	ベルジカ山脈
石立山	いしだちやま	山	峰	Isidati	Yama	Isidati Yama	Peak	Isidati Peak	1981.11	ベルジカ山脈
一望山	いちぼうやま	山	峰	Itibô	Yama	Itibô Yama	Peak	Itibô Peak	1981.11	プリンスオラフ海岸
市女氷河	いちめひょうが	氷河	氷河	Itime	Hyôga	Itime Hyôga	Glacier	Itime Glacier	1963.05	プリンスオラフ海岸
いちじく池	いちじくいけ	湖池	湖池	Itiziku	Ike	Itiziku Ike	Lake	Lake Itiziku	1972.06	宗谷海岸
岩島	いわじま	島	島	Iwa-zima	Zima	Iwa-zima	Island	Iwa-zima Island	1962.10	宗谷海岸
かぶと岳	かぶとだけ	山	ヌナタック	Kabuto	Dake	Kabuto Dake	Nunatak	Kabuto Nunatak	1975.11	やまと山脈
かぶと岩	かぶといわ	岩	岩	Kabuto	Iwa	Kabuto Iwa	Rock	Kabuto Rock	1963.05	プリンスオラフ海岸
かど岬	かどみさき	岬	岬(Point)	Kado	Misaki	Kado Misaki	Point	Kado Point	1972.06	宗谷海岸
鏡平	かがみだいら	氷原	氷原	Kagami	Daira	Kagami Daira	Ice Field	Kagami Ice Field	1981.11	ベルジカ山脈
かがみ浦	かがみうら	入江・湾	入江(Inlet)	Kagami	Ura	Kagami Ura	Inlet	Kagami Inlet	1977.03	プリンスオラフ海岸
貝の浜	かいのはま	海岸	浜	Kai-no-hama	Hama	Kai-no-hama	Beach	Kai-no-hama Beach	1963.05	宗谷海岸
かかり岩	かかりいわ	岩	岩	Kakari-iwa	Iwa	Kakari-iwa	Rock	Kakari Rock	1981.11	やまと山脈
かくれ岩	かくれいわ	岩	岩	Kakure	Iwa	Kakure Iwa	Rock	Kakure Rock	1963.05	エンダビーランド
亀島	かめじま	島	島	Kame	Zima	Kame Zima	Island	Kame Island	1963.05	プリンスオラフ海岸
亀の背	かめのせ	山	山	Kame-no-se	Se	Kame-no-se	Mount	Mount Kame-no-se	1979.03	やまと山脈
上釜	かみかま	くぼ地	釜	Kami-kama	Kama	Kami-kama		Kami-kama	1972.06	宗谷海岸
かもめ池	かもめいけ	湖池	湖池	Kamome	Ike	Kamome Ike	Lake	Lake Kamome	1963.05	宗谷海岸
かなめ島	かなめじま	島	島	Kaname	Zima	Kaname Zima	Island	Kaname Island	1972.06	リュツォ・ホルム湾
かに岩	かにいわ	岩	岩	Kani	Iwa	Kani Iwa	Rock	Kani Rock	1963.05	プリンスオラフ海岸
かんむり山	かんむりやま	山	山	Kanmuri	Yama	Kanmuri Yama	Mt.	Mt. Kanmuri	1973.11	宗谷海岸
からめて岬	からめてみさき	岬	岬(Point)	Karamete	Misaki	Karamete Misaki	Point	Karamete Point	1963.05	プリンスハラル海岸
かすみ氷河	かすみひょうが	氷河	氷河	Kasumi	Hyôga	Kasumi Hyôga	Glacier	Kasumi Glacier	1963.05	プリンスオラフ海岸
かすみ岩	かすみいわ	岩	岩	Kasumi	Iwa	Kasumi Iwa	Rock	Kasumi Rock	1962.10	プリンスオラフ海岸
かすり岩	かすりいわ	岩	岩	Kasuri	Iwa	Kasuri Iwa	Rock	Kasuri Rock	1979.03	やまと山脈
肩のくぼ	かたのくぼ	くぼ地	窪	Kata-no-Kubo	Kubo	Kata-no-Kubo	Cirque	Kata Cirque	1989.11	セール・ロンダーネ
カワノリ台	かわのりだい	台地	台(terrace)	Kawanori	Dai	Kawanori Dai	Terrace	Kawanori Terrace	1994.06	宗谷海岸
茅氷河	かやひょうが	氷河	氷河	Kaya	Hyôga	Kaya Hyôga	Glacier	Kaya Glacier	1989.11	プリンスハラル海岸
風島	かぜしま	島	島	Kaze	Sima	Kaze Sima	Island	Kaze Island	96.00	宗谷海岸
亀甲が原	きっこうがはら	台地	台(terrace)	Kikkô-ga-hara	Hama	Kikkô-ga-hara	Terrace	Kikkô Terrace	1973.11	プリンスオラフ海岸
きんぎょ岩	きんぎょいわ	岩	岩	Kingyo	Iwa	Kingyo Iwa	Rock	Kingyo Rock	1962.10	プリンスオラフ海岸
霧岳	きりだけ	山	ヌナタック	Kiri	Dake	Kiri Dake	Nunatak	Kiri Nunatak	1973.11	エンダビーランド
切出し岬	きりだしみさき	岬	岬(Point)	Kiridasi	Misaki	Kiridasi Misaki	Point	Kiridasi Point	1977.03	プリンスオラフ海岸
北島	きたじま	島	島	Kita	Zima	Kita Zima	Island	Kita-zima Island	1972.06	宗谷海岸
北はなれ岩	きたはなれいわ	山	ヌナタック	Kita-hanare-iwa	Iwa	Kita-hanare-iwa	Nunatak	Kita-hanare Nunatak	1981.11	やまと山脈
北からめて岩	きたからめていわ	岩	岩	Kita-karamete	Iwa	Kita-karamete Iwa	Rock	Kita-karamete Rock	1972.06	プリンスオラフ海岸
北長尾根	きたながおね	山	尾根	Kita-nagaone	Nagaone	Kita-nagaone	Ridge	Kita Ridge	1981.11	ベルジカ山脈
北の瀬戸	きたのせと	瀬戸	瀬戸	Kita-no-seto	Seto	Kita-no-seto	Strait	Kita-no-seto Strait	1963.05	宗谷海岸
北の浦	きたのうら	入江・湾	入江(Cove)	Kita-no-ura	Ura	Kita-no-ura	Cove	Kita-no-ura Cove	1963.05	宗谷海岸
北テオイヤ	きたておいや	テオイヤ	テオイヤ	Kita-Teoya	Teoiya	Kita-Teoya	Teöya	North Teöya	1977.03	宗谷海岸
北見浜	きたみはま	海岸	浜	Kitami	Hama	Kitami Hama	Beach	Kitami Beach	1963.05	宗谷海岸
きざはし浜	きざはしはま	海岸	浜	Kizahasi	Hama	Kizahasi Hama	Beach	Kizahasi Beach	1972.06	宗谷海岸
小岩	こいわ	岩	岩	Ko-iwa	Iwa	Ko-iwa	Rock	Ko-iwa Rock	1962.10	プリンスオラフ海岸
小湊	こみなと	入江・湾	入江(Inlet)	Ko-minato	Minato	Ko-minato	Inlet	Kominato Inlet	1962.10	宗谷海岸
小岩島	こいわじま	島	島	Koiwa	Zima	Koiwa Zima	Island	Koiwa Island	1994.06	宗谷海岸
苔平	こけだいら	平原	平	Koke	Daira	Koke Daira	Stland	Koke Stland	1963.05	宗谷海岸
混成ピラ	こんせいぴら	山	壁	Konsei-pira	Pira	Konsei-pira	Bluff	Konsei Bluff	1979.03	やまと山脈
小指岬	こゆびみさき	岬	岬(Cape)	Koyubi	Misaki	Koyubi Misaki	Cape	Cape Koyubi	1972.06	宗谷海岸
小指尾根	こゆびおね	山	尾根	Koyubi-one	One	Koyubi-one	Ridge	Koyubi Ridge	1988.11	セール・ロンダーネ
子象岩	こぞういわ	岩	岩	Kozô	Iwa	Kozô Iwa	Rock	Kozô Rock	1962.10	プリンスオラフ海岸
くみひも岩	くみひもいわ	岩	岩	Kumihimo	Iwa	Kumihimo Iwa	Rock	Kumihimo Rock	1985.03	プリンスオラフ海岸

地名	読み	分類1	分類2	固有名詞	ローマ字普通名詞	ローマ字	英語普通名詞	英語名(参考)	命名年	地域
雲の平	くものたいら	氷原	氷原	Kumo-no-taira	Taira	Kumo-no-taira	Ice Field	Kumo-no-taira Ice Field	1979.03	やまと山脈
くらかけ山	くらかけやま	山	ヌナタック	Kurakake	Yama	Kurakake Yama	Nunatak	Kurakake Nunatak	1975.11	やまと山脈
黒岩山	くろいわやま	山	山	Kuroiwa	Yama	Kuroiwa Yama	Mt.	Mt. Kuroiwa	1989.11	セール・ロンダーネ
くるみ島	くるみじま	島	島	Kurumi	Zima	Kurumi Zima	Island	Kurumi Island	1963.05	宗谷海岸
櫛の歯台	くしのはだい	台地	台地	Kusinoha	Dai	Kusinoha Dai	Upland	Kusinoha Upland	1994.06	宗谷海岸
薬指尾根	くすりゆびおね	山	尾根	Kusuriyubi-One	One	Kusuriyubi-One	Ridge	Kusuriyubi Ridge	1988.11	セール・ロンダーネ
くわがた山	くわがたやま	山	ヌナタック	Kuwagata	Yama	Kuwagata Yama	Nunatak	Kuwagata Nunatak	1975.11	やまと山脈
鯨岬	くじらみさき	岬	岬(Point)	Kuzira	Misaki	Kuzira Misaki	Point	Kuzira Point	1962.10	リュツォ・ホルム湾
ラングホブデ氷河	らんぐほぶでひょうが	氷河	氷河	Langhovde	hyôga	Langhovde hyôga	Glacier	Langhovde Glacier	1962.10	宗谷海岸
ラングホブデ北岬	らんぐはぶできたみさき	岬	岬(Point)	Langhovde-kita	Misaki	Langhovde-kita Misaki	Point	Langhovde-kita Point	1962.10	宗谷海岸
前氷河岩	まえひょうがいわ	岩	岩	Mae-hyôga	Iwa	Mae-hyôga Iwa	Rock	Mae-hyôga Rock	1962.10	宗谷海岸
まごけ岬	まごけみさき	岬	岬(Point)	Magoke	Misaki	Magoke Misaki	Point	Magoke Point	1972.06	宗谷海岸
迷子山	まいごやま	山	峰	Maigo	Yama	Maigo Yama	Peak	Maigo Peak	1973.11	プリンスオラフ海岸
迷子沢	まいござわ	沢・谷	沢	Maigo	Zawa	Maigo Zawa	Stream	Maigo Stream	1963.05	宗谷海岸
幕岩	まくいわ	岩	岩	Maku	Iwa	Maku Iwa	Rock	Maku Rock	1979.03	やまと山脈
まめ島	まめじま	島	島	Mame-zima	Zima	Mame-zima	Island	Mame-zima Island	1963.05	宗谷海岸
まんじゅう岩	まんじゅういわ	岩	岩	Manzyû	Iwa	Manzyû Iwa	Rock	Manzyû Rock	1962.10	プリンスオラフ海岸
円山	まるやま	山	峰	Maru	Yama	Maru Yama	Peak	Maruyama Peak	1973.11	宗谷海岸
丸鼻	まるはな	岬	鼻	Maruhana	Hana	Maruhana	Foreland	Maruhana Foreland	1977.03	プリンスオラフ海岸
丸湾大池	まるわんおおいけ	湖池	湖池	Maruwan	Ôike	Maruwan Ôike	Lake	Maruwan Lake	1988.11	宗谷海岸
めんどり島	めんどりじま	島	島	Mendori	Zima	Mendori Zima	Island	Mendori Island	1972.06	宗谷海岸
めおと岩	めおといわ	岩	岩	Meoto	Iwa	Meoto Iwa	Rock	Meoto Rock	1962.10	プリンスオラフ海岸
みどり池	みどりいけ	湖池	湖池	Midori	Ike	Midori Ike	Lake	Lake Midori	1963.05	宗谷海岸
右島	みぎじま	島	島	Migi	Zima	Migi Zima	Island	Migi-zima Island	1972.06	宗谷海岸
見晴らし岩	みはらしいわ	山	峰	Miharasi	Iwa	Miharasi Iwa	Peak	Miharasi Peak	1962.10	宗谷海岸
見返り台	みかえりだい	台地	台(terrace)	Mikaeridai	Dai	Mikaeridai	Terrace	Mikaeri Terrace	1972.06	宗谷海岸
三日月岩	みかづきいわ	岩	岩	Mikazuki	Iwa	Mikazuki Iwa	Rock	Mikazuki Rock	1979.03	やまと山脈
ミクロ岩	みくろいわ	岩	岩	Mikuro-iwa	Iwa	Mikuro-iwa	Rock	Micro-iwa Rock	1994.06	宗谷海岸
みみ岩	みみいわ	岩	岩	Mimi	Iwa	Mimi Iwa	Rock	Mimi Rock	1979.03	やまと山脈
みなみ池	みなみいけ	湖池	湖池	Minami	Ike	Minami Ike	Lake	Lake Minami	1963.05	宗谷海岸
南ベルジカヌナター	みなみべるじかぬなたーくぐん	山	ヌナタック	Minami-Belgica	Nunatak-Gun	Minami-Belgica Nunatak-G	Nunataks	Minami-Belgica Nunataks	1981.11	ベルジカ山脈
南平頭山	みなみへいとうぎん	山	山	Minami-heitô	Zan	Minami-heitô Zan	Mt.	Mt. Minami-heitô	1973.11	宗谷海岸
南からめて岩	みなみからめていわ	岩	岩	Minami-karamete	Iwa	Minami-karamete Iwa	Rock	Minami-karamete Rock	1972.06	プリンスハラル海岸
南長尾根	みなみながおね	山	尾根	Minami-nagaone	Nagaone	Minami-nagaone	Ridge	Minami Ridge	1981.11	ベルジカ山脈
南の瀬戸	みなみのせと	瀬戸	瀬戸	Minami-no-seto	Seto	Minami-no-seto	Strait	Minami-no-seto Strait	1963.05	宗谷海岸
南やまとヌナタークぐ	みなみやまとぬなたーくぐん	山	ヌナタック	Minami-Yamato	Nunatak-Gun	Minami-Yamato Nunatak-G	Nunataks	Minami-Yamato Nunataks	1975.11	やまと山脈
みなも島	みなもじま	島	島	Minamo	Zima	Minamo Zima	Island	Minamo Island	1972.06	宗谷海岸
三つ岩	みついわ	岩	岩	Mitu	Iwa	Mitu Iwa	Rock	Mitu-iwa Rock	1972.06	宗谷海岸
三つどもえ島	みつどもえじま	島	島	Mitudomoe	Zima	Mitudomoe Zima	Islands	Mitudomoe Islands	1962.10	宗谷海岸
三つ池低地	みついけていち	沢・谷	谷	Mituike	Teiti	Mituike Teiti	Valley	Mitu-Ike Valley	1994.06	宗谷海岸
みずほ高原	みずほこうげん	山	高原	Mizuho	Kôgen	Mizuho Kôgen	Plateau	Mizuho Plateau	1961.02	みずほ高原
水くぐり浦	みずくぐりうら	入江・湾	入江(Cove)	Mizukuguri	Ura	Mizukuguri Ura	Cove	Mizukuguri Cove	1972.06	宗谷海岸
水汲み沢	みずくみざわ	沢・谷	沢	Mizukumi	Zawa	Mizukumi Zawa	Stream	Mizukumi Stream	1963.05	宗谷海岸
もすそ山	もすそやま	山	丘	Mosuso	Yama	Mosuso Yama	Hill	Mosuso Hill	1979.03	やまと山脈
基岩	もとといわ	山	ヌナタック	Motoi	Iwa	Motoi Iwa	Nunatak	Motoi Nunatak	1975.11	やまと山脈
向岩	むかいいわ	岩	岩	Mukai	Iwa	Mukai Iwa	Rocks	Mukai Rocks	1972.06	宗谷海岸
長岩	ながいわ	岩	岩	Naga-iwa	Iwa	Naga-iwa	Rock	Naga-iwa Rock	1962.10	プリンスオラフ海岸
長靴岬	ながぐつみさき	岬	岬(Point)	Nagagutu	Misaki	Nagagutu Misaki	Point	Nagagutu Point	1962.10	リュツォ・ホルム湾
中長尾根	なかながおね	山	尾根	Naka-nagaone	Nagaone	Naka-nagaone	Ridge	Naka Ridge	1981.11	ベルジカ山脈
中の廊下	なかのろうか	沢・谷	谷	Naka-no-rôka	Rôka	Naka-no-rôka	Valley	Naka-no-rôka Valley	1981.11	ベルジカ山脈
中の瀬戸	なかのせと	瀬戸	瀬戸	Naka-no-seto	Seto	Naka-no-seto	Strait	Naka-no-seto Strait	1962.10	宗谷海岸
中の谷	なかのたに	沢・谷	谷	Naka-no-tani	Tani	Naka-no-tani	Valley	Naka-no-tani Valley	1972.06	宗谷海岸
中の浦	なかのうら	入江・湾	入江(Cove)	Naka-no-ura	Ura	Naka-no-ura	Cove	Naka-no-ura Cove	1981.11	宗谷海岸
中島	なかじま	島	島	Naka-zima	Zima	Naka-zima	Island	Naka-zima Island	1962.10	宗谷海岸
中州岩	なかすいわ	岩	岩	Nakasu	Iwa	Nakasu Iwa	Rock	Nakasu Rock	1979.03	やまと山脈
中指岬	なかゆびみさき	岬	岬(Cape)	Nakayubi	Misaki	Nakayubi Misaki	Cape	Cape Nakayubi	1972.06	宗谷海岸
中指尾根	なかゆびおね	山	尾根	Nakayubi-one	One	Nakayubi-one	Ridge	Nakayubi Ridge	1988.11	セール・ロンダーネ
なまこ氷河	なまこひょうが	氷河	氷河	Namako	Hyôga	Namako Hyôga	Glacier	Namako Glacier	1981.11	ベルジカ山脈
波形台	なみがただい	台地	台(terrace)	Namigatadai	Dai	Namigatadai	Terrace	Namigata Terrace	1977.03	プリンスオラフ海岸
南天岩	なんてんいわ	岩	岩	Nanten	Iwa	Nanten Iwa	Rock	Nanten Rock	1981.11	やまと山脈
ならび岩	ならびいわ	岩	岩	Narabi	Iwa	Narabi Iwa	Rocks	Narabi Rocks	1962.10	プリンスオラフ海岸
ならびが丘	ならびがおか	山	丘	Narabi-ga-oka	Oka	Narabi-ga-oka	Hills	Narabi Hills	1979.03	プリンスオラフ海岸
念珠藻池	ねんじゅもいけ	湖池	湖池	Nenzyumo	Ike	Nenzyumo Ike	Lake	Nenzyumo Lake	1994.06	宗谷海岸
二番岩	にばんいわ	岩	岩	Niban	Iwa	Niban Iwa	Rock	Niban Rock	1962.10	プリンスオラフ海岸

地名	読み	分類1	分類2	固有名詞	ローマ字普通名詞	ローマ字	英語普通名詞	英語名(参考)	命名年	地域
二番東岩	にばんひがしいわ	岩	岩	Niban-higasi	Iwa	Niban-higasi Iwa	Rock	Niban-higasi Rock	1981.11	プリンスオラフ海岸
二番西岩	にばんにしいわ	岩	岩	Niban-nisi	Iwa	Niban-nisi Iwa	Rock	Niban-nisi Rock	1981.11	プリンスオラフ海岸
西ハムナ池	にしはむないけ	湖池	湖池	Nisi-hamuna	Ike	Nisi-hamuna Ike	Lake	Lake Nisi-hamuna	1973.11	宗谷海岸
西長岩氷河	にしながいわひょうが	氷河	氷河	Nisi-naga-iwa	Hyôga	Nisi-naga-iwa Hyôga	Glacier	Nisi-naga-iwa Glacier	1963.05	プリンスオラフ海岸
西の瀬戸	にしのせと	瀬戸	瀬戸	Nisi-no-seto	Seto	Nisi-no-seto	Strait	Nisi-no-seto Strait	1963.05	宗谷海岸
西の浦	にしのうら	入江・湾	入江(Cove)	Nisi-no-ura	Ura	Nisi-no-ura	Cove	Nisi-no-ura Cove	1963.05	宗谷海岸
西オングル島	にしおんぐるとう	島	島	Nisi-Ongul	Tô	Nisi-Ongul Tô	Island	West Ongul Island	1977.03	宗谷海岸
西テオイヤ	にしておいや	テオイヤ	テオイヤ	Nisi-Teøya	Teoiya	Nisi-Teøya	Teöya	West Teöya	1977.03	宗谷海岸
虹のくぼ	にじのくぼ	くぼ地	窪	Nizi-no-kubo	Kubo	Nizi-no-kubo		Nizi-no-kubo	1979.03	やまと山脈
のろし台	のろしだい	山	ヌナタック	Norosidai	Dai	Norosidai	Nunatak	Norosidai Nunatak	1981.11	やまと山脈
ぬるめ池	ぬるめいけ	湖池	湖池	Nurume	Ike	Nurume Ike	Lake	Lake Nurume	1972.06	宗谷海岸
扇氷河	おうぎひょうが	氷河	氷河	Ôgi	Hyôga	Ôgi Hyôga	Glacier	Ôgi Glacier	1979.03	やまと山脈
扇が原	おうぎがはら	平原	原	Ôgi-ga-hara	Hama	Ôgi-ga-hara	Field	Ôgi Morain Field	1979.03	やまと山脈
扇の門	おうぎのもん	山	峠	Ôgi-no-mon	Mon	Ôgi-no-mon	Pass	Ôgi-no-mon Pass	1979.03	やまと山脈
大池	おおいけ	湖池	湖池	Ô-ike	Ike	Ô-ike	Lake	Lake Ô-ike	1962.10	宗谷海岸
沖玉岩	おきたまいわ	岩	岩	Okitama	Iwa	Okitama Iwa	Rock	Okitama Rock	1981.11	プリンスオラフ海岸
奥氷河岩	おくひょうがいわ	岩	岩	Oku-hyôga	Iwa	Oku-hyôga Iwa	Rock	Oku-hyôga Rock	1962.10	宗谷海岸
奥岩	おくいわ	岩	岩	Oku-iwa	Iwa	Oku-iwa	Rock	Oku-iwa Rock	1962.10	プリンスオラフ海岸
奥岩氷河	おくいわひょうが	氷河	氷河	Oku-iwa	Hôga	Oku-iwa Hôga	Glacier	Oku-iwa Glacier	1963.05	プリンスオラフ海岸
奥白瀬平	おくしらせだいら	平原	平	Oku-Shirase	Daira	Oku-Shirase Daira	Basin	Oku-Shirase Basin	1963.05	みずほ高原
オメガ氷河	おめがひょうが	氷河	氷河	Omega	Hyôga	Omega Hyôga	Glacier	Omega Glacier	1963.05	プリンスオラフ海岸
オメガ岬	おめがみさき	岬	岬(Cape)	Omega	Misaki	Omega Misaki	Cape	Cape Omega	1962.10	プリンスオラフ海岸
オメガ東岩	おめがひがしいわ	岩	岩	Omega-higasi	Iwa	Omega-higasi Iwa	Rock	Omega-higasi Rock	1979.03	プリンスオラフ海岸
オメガ中岩	おめがなかいわ	岩	岩	Omega-naka	Iwa	Omega-naka Iwa	Rock	Omega-naka Rock	1979.03	プリンスオラフ海岸
オメガ西岩	おめがにしいわ	岩	岩	Omega-nisi	Iwa	Omega-nisi Iwa	Rock	Omega-nisi Rock	1979.03	プリンスオラフ海岸
おんどり島	おんどりじま	島	島	Ondori	Zima	Ondori Zima	Island	Ondori Island	1972.06	宗谷海岸
オングル沖の島	おんぐるおきのしま	島	島	Ongul Oki-no-sima	Sima	Ongul Oki-no-sima	Island	Ongul Oki-no-sima Island	1994.06	宗谷海岸
オングル諸島	おんぐるしょとう	島	島	Ongul	Syotô	Ongul Syotô	Islands	Ongul Islands	1977.03	宗谷海岸
扇浜	おうぎはま	海岸	浜	Oogi	Hama	Oogi Hama	Beach	Oogi Beach	1973.11	宗谷海岸
おしあげ浜	おしあげはま	海岸	浜	Osiage	Hama	Osiage Hama	Beach	Osiage Beach	1972.06	宗谷海岸
乙姫岩	おとひめいわ	山	丘	Otohime	Iwa	Otohime Iwa	Hill	Otohime Hill	1979.03	プリンスオラフ海岸
乙女の鼻	おとめのはな	岬	岬(Point)	Otome-no-hana	Hana	Otome-no-hana	Point	Otome Point	1973.11	プリンスオラフ海岸
親子池	おやこいけ	湖池	湖池	Oyako	Ike	Oyako Ike	Lake	Oyako Lake	1975.11	宗谷海岸
親子島	おやこじま	島	島	Oyako	Zima	Oyako Zima	Islands	Oyako Islands	1962.10	プリンスオラフ海岸
親指池	おやゆびいけ	湖池	湖池	Oyayubi	Ike	Oyayubi Ike	Lake	Lake Oyayubi	1972.06	宗谷海岸
親指岬	おやゆびみさき	岬	岬(Point)	Oyayubi	Misaki	Oyayubi Misaki	Point	Oyayubi Point	1972.06	宗谷海岸
親指島	おやゆびじま	島	島	Oyayubi	Zima	Oyayubi Zima	Island	Oyayubi Island	1972.06	宗谷海岸
親指尾根	おやゆびおね	山	尾根	Oyayubi-one	One	Oyayubi-one	Ridge	Oyayubi Ridge	1988.11	セール・ロンダーネ
ペンギン台	ぺんぎんだい	台地	台地	Pengin	Dai	Pengin Dai	Heights	Pengin Heights	1973.11	プリンスオラフ海岸
ペンギン谷	ぺんぎんだに	沢・谷	谷	Pengin	Dani	Pengin Dani	Valley	Pengin Valley	1979.03	プリンスオラフ海岸
らくだ氷河	らくだひょうが	氷河	氷河	Rakuda	Hyôga	Rakuda Hyôga	Glacier	Rakuda Glacier	1963.05	プリンスオラフ海岸
らくだ岩	らくだいわ	岩	岩	Rakuda	Iwa	Rakuda Iwa	Rock	Rakuda Rock	1963.05	プリンスオラフ海岸
竜宮岬	りゅうぐうみさき	岬	岬(Cape)	Ryûgû	Misaki	Ryûgû Misaki	Cape	Cape Ryûgû	1963.05	プリンスオラフ海岸
竜宮北岬	りゅうぐうきたみさき	岬	岬(Point)	Ryûgû-kita	Misaki	Ryûgû-kita Misaki	Point	Ryûgû-kita Point	1979.03	プリンスオラフ海岸
竜宮中の岩	りゅうぐうなかのいわ	岩	岩	Ryûgû-naka-no-iwa	Iwa	Ryûgû-naka-no-iwa	Rock	Ryûgû-naka-no-iwa Rock	1979.03	プリンスオラフ海岸
竜宮西岬	りゅうぐうにしみさき	岬	岬(Point)	Ryûgû-nisi	Misaki	Ryûgû-nisi Misaki	Point	Ryûgû-nisi Point	1979.03	プリンスオラフ海岸
宗谷海岸	そうやかいがん	海岸	海岸	Sôya	Kaigan	Sôya Kaigan	Coast	Sôya Coast	1964.02	宗谷海岸
宗谷裸氷原	そうやらひょうげん	氷原	氷原	Sôya	Rahyôgen	Sôya Rahyôgen	Bare Ice Field	Sôya Bare Ice Field	1981.11	宗谷海岸
さかずき岩	さかずきいわ	岩	岩	Sakazuki	Iwa	Sakazuki Iwa	Rock	Sakazuki Rock	1962.10	プリンスオラフ海岸
三角岩	さんかくいわ	岩	岩	Sankaku	Iwa	Sankaku Iwa	Rock	Sankaku Rock	1979.03	やまと山脈
三脚山	さんきやくやま	山	丘	Sankyaku	Yama	Sankyaku Yama	Hills	Sankyaku Hills	1979.03	プリンスオラフ海岸
三色台	さんしょくだい	台地	台(terrace)	Sansyoku	Dai	Sansyoku Dai	Terrace	Sansyoku Terrace	1981.11	プリンスオラフ海岸
石膏谷	せっこうだに	沢・谷	谷	Sekko	Dani	Sekko Dani	Valley	Sekko Valley	1989.11	セール・ロンダーネ
閃長山	せんちょうやま	山	山	Sentyô	Yama	Sentyô Yama	Mount	Mount Sentyô	1981.11	やまと山脈
白瀬氷河	しらせひょうが	氷河	氷河	Shirase	Hyôga	Shirase Hyôga	Glacier	Shirase Glacier	1961.02	宗谷海岸
白瀬海底谷	しらせかいていこく	海底地形	海底谷	Shirase	Kaitei-koku	Shirase Kaitei-koku	Submarine Valley	Shirase Submarine Valley	1989.11	リュツオ・ホルム湾
下釜	しもかま	くぼ地	釜	Simo-kama	kama	Simo-kama		Simo-kama	1972.06	宗谷海岸
新南氷河	しんなんひょうが	氷河	氷河	Sinnan	Hyôga	Sinnan Hyôga	Glacier	Sinnan Glacier	1963.05	プリンスオラフ海岸
新南池	しんなんいけ	湖池	湖池	Sinnan	Ike	Sinnan Ike	Lake	Sinnan Lake	1977.03	プリンスオラフ海岸
新南岩	しんなんいわ	岩	岩	Sinnan	Iwa	Sinnan Iwa	Rocks	Sinnan Rocks	1962.10	プリンスオラフ海岸
忍び岩	しのびいわ	岩	岩	Sinobi	Iwa	Sinobi Iwa	Rock	Sinobi Rock	1963.05	プリンスオラフ海岸
しらすそ山	しらすそやま	山	山	Sirasuso	Yama	Sirasuso Yama	Mt.	Mt. Sirasuso	1975.11	宗谷海岸
しるべ島	しるべじま	島	島	Sirube	Zima	Sirube Zima	Island	Sirube Island	1988.11	宗谷海岸
獅子岩	ししいわ	岩	岩	Sisi	Iwa	Sisi Iwa	Rock	Sisi Rock	1981.11	プリンスオラフ海岸

地名	読み	分類1	分類2	固有名詞	ローマ字普通名詞	ローマ字	英語普通名詞	英語名(参考)	命名年	地域
スカーレン氷河	すかーれんひょうが	氷河	氷河	Skallen	Hyôga	Skallen Hyôga	Glacier	Skallen Glacier	1963.05	宗谷海岸
スカーレン大池	すかーれんおおいけ	湖池	湖池	Skallen	Ôike	Skallen Ôike	Lake	Lake Skallen Ôike	1972.06	宗谷海岸
すだれ岩	すだれいわ	岩	岩	Sudare	Iwa	Sudare Iwa	Rock	Sudare Rock	1962.10	宗谷海岸
水晶岩	すいしょういわ	岩	岩	Suisyô	Iwa	Suisyô Iwa	Rock	Suisyô Rock	1979.03	やまと山脈
すりばち池	すりばちいけ	湖池	湖池	Suribati	Ike	Suribati Ike	Lake	Lake Suribati	1972.06	宗谷海岸
すりばち山	すりばちやま	山	山	Suribati	Yama	Suribati Yama	Mt.	Mt. Suribati	1973.11	宗谷海岸
障子岩	しょうじいわ	岩	岩	Syôzi	Iwa	Syôzi Iwa	Rock	Syôzi Rock	1979.03	やまと山脈
昭和平	しょうわだいら	平原	平	Syowa	Daira	Syowa Daira	Flat	Syowa Flat	1962.10	宗谷海岸
到着氷河	とうちゃくひょうが	氷河	氷河	Tôtyaku	Hyôga	Tôtyaku Hyôga	Glacier	Tôtyaku Glacier	1979.03	やまと山脈
到着岩	とうちやくいわ	山	ヌナタック	Tôtyaku-iwa	Iwa	Tôtyaku-iwa	Nunatak	Tôtyaku Nunatak	1981.11	やまと山脈
高岩	たかいわ	岩	岩	Taka-iwa	Iwa	Taka-iwa	Rock	Taka-iwa Rock	1979.03	やまと山脈
高見が丘	たかみがおか	山	丘	Takami-ga	Oka	Takami-ga Oka	Hill	Takami Hill	1977.03	プリンスオラフ海岸
鷹の爪峰	たかのつめみね	山	峰	Takano-tume-mine	Mine	Takano-tume-mine	Peak	Takano-tume Peak	1988.11	セール・ロンダーネ
たま氷河	たまひょうが	氷河	氷河	Tama	Hyôga	Tama Hyôga	Glacier	Tama Glacier	1963.05	プリンスオラフ海岸
たま岬	たまみさき	岬	岬(Point)	Tama	Misaki	Tama Misaki	Point	Tama Point	1962.10	プリンスオラフ海岸
たんこぶ山	たんこぶやま	山	峰	Tankobu	Yama	Tankobu Yama	Peak	Tankobu Peak	1962.10	宗谷海岸
たらちね池	たらちねいけ	湖池	湖池	Taratine	Ike	Taratine Ike	Lake	Lake Taratine	1963.05	宗谷海岸
立待岬	たちまちみさき	岬	岬(Point)	Tatimati	Misaki	Tatimati Misaki	Point	Tatimati Point	1972.06	宗谷海岸
手首山	てくびやま	山	山	Tekubi	Yama	Tekubi Yama	Mt.	Mt. Tekubi	1988.11	セール・ロンダーネ
テーレン氷河	てーれんひょうが	氷河	氷河	Telen	Hyôga	Telen Hyôga	Glacier	Telen Glacier	1963.05	宗谷海岸
テーレン海底谷	てーれんかいていこく	海底地形	海底谷	Telen	Kaitei-koku	Telen Kaitei-koku	Submarine Valley	Telen Submarine Valley	1989.11	リュツォ・ホルム湾
天河氷瀑	てんがひょうばく	氷瀑	氷瀑	Tenga	Hyôbaku	Tenga Hyôbaku	Icefall	Tenga Icefall	1981.11	ベルジカ山脈
天文台岩	てんもんだいいわ	岩	岩	Tenmondai	Iwa	Tenmondai Iwa	Rock	Tenmondai Rock	1962.10	プリンスオラフ海岸
天平山	てんぴょうざん	山	山	Tenpyô	Zan	Tenpyô Zan	Mt.	Mt. Tenpyô	1973.11	宗谷海岸
天指し峰	てんさしみね	山	峰	Tensasi-mine	Mine	Tensasi-mine	Peak	Tensasi Peak	1988.11	セール・ロンダーネ
天測岩	てんそくいわ	岩	岩	Tensoku	Iwa	Tensoku Iwa	Rock	Tensoku Rock	1962.10	プリンスオラフ海岸
ちぢれ氷河	ちぢれひょうが	氷河	氷河	Tizire	Hyôga	Tizire Hyôga	Glacier	Tizire Glacier	1963.05	プリンスオラフ海岸
ちぢれ岩	ちぢれいわ	岩	岩	Tizire	Iwa	Tizire Iwa	Rocks	Tizire Rocks	1963.05	プリンスオラフ海岸
鳥羽根台	とりはねだい	台地	台地	Torihane	Dai	Torihane Dai	Heights	Torihane Heights	1981.11	プリンスオラフ海岸
鳥舞岳	とりまいだけ	山	山	Torimai	Dake	Torimai Dake	Mount	Mount Torimai	1979.03	やまと山脈
鳥の巣湾	とりのすわん	入江・湾	入江(Cove)	Torinosu	Wan	Torinosu Wan	Cove	Torinosu Cove	1973.11	宗谷海岸
とっつき岬	とっつきみさき	岬	岬(Point)	Tottuki	Misaki	Tottuki Misaki	Point	Tottuki Point	1962.10	宗谷海岸
衝立岩	ついたていわ	岩	岩	Tuitate	Iwa	Tuitate Iwa	Rock	Tuitate Rock	1979.03	やまと山脈
蝶が岳	ちょうがたけ	山	山	Tyô-ga-take	Take	Tyô-ga-take	Mount	Mount Tyô	1979.03	やまと山脈
蝶のくぼ	ちょうのくぼ	くぼ地	窪	Tyô-no-kubo	Kubo	Tyô-no-kubo		Tyô-no-kubo	1981.11	やまと山脈
長頭山	ちょうとうざん	山	山	Tyôtô	Zan	Tyôtô Zan	Mt.	Mt. Tyôtô	1962.10	宗谷海岸
梅干岩	うめぼしいわ	岩	岩	Umebosi	Iwa	Umebosi Iwa	Rock	Umebosi Rock	1963.05	プリンスオラフ海岸
裏長尾根	うらながおね	山	尾根	Ura-ngaone	One	Ura-ngaone	Ridge	Ura Ridge	1981.11	ベルジカ山脈
内はなれ岩	うちはなれいわ	岩	岩	Uti-hanare	Iwa	Uti-hanare Iwa	Rock	Uti-hanare Rock	1979.03	やまと山脈
ベストホブデ東岩	べすとほぶでひがしいわ	岩	岩	Vesthovde-higasi	Iwa	Vesthovde-higasi Iwa	Rocks	Vesthovde-higasi Rocks	1985.03	プリンスオラフ海岸
ベストホブデ北岩	べすとほぶできたいわ	岩	岩	Vesthovde-kita	Iwa	Vesthovde-kita Iwa	Rock	Vesthovde-kita Rock	1985.03	プリンスオラフ海岸
ベストホブデ中岩	べすとほぶでなかいわ	岩	岩	Vesthovde-naka	Iwa	Vesthovde-naka Iwa	Rocks	Vesthovde-naka Rocks	1985.03	プリンスオラフ海岸
ベストホブデ西岩	べすとほぶでにしいわ	岩	岩	Vesthovde-nisi	Iwa	Vesthovde-nisi Iwa	Rocks	Vesthovde-nisi Rocks	1985.03	プリンスオラフ海岸
わかどり島	わかどりじま	島	島	Wakadori	Zima	Wakadori Zima	Island	Wakadori Island	1972.06	宗谷海岸
遊牧谷	ゆうぼくだに	沢・谷	谷	Yûboku-dani	Dani	Yûboku-dani	Valley	Yûboku Valley	1988.11	セール・ロンダーネ
やまと山脈	やまとさんみやく	山	山脈	Yamato	Sanmyaku	Yamato Sanmyaku	Mountains	Yamato Mountains	1961.02	やまと山脈
やつで沢	やつでざわ	沢・谷	谷	Yatude	Zawa	Yatude Zawa	Valley	Yatude Valley	1972.06	宗谷海岸
四方ぎり島	よもぎりじま	島	島	Yomogiri	Zima	Yomogiri Zima	Island	Yomogiri Island	1977.03	宗谷海岸
四つ池谷	よついけだに	沢・谷	谷	Yotuike	Dani	Yotuike Dani	Valley	Yotuike Valley	1975.11	宗谷海岸
四つ目岩	よつめいわ	岩	岩	Yotume	Iwa	Yotume Iwa	Rocks	Yotume Rocks	1962.10	プリンスハラル海岸
雪島	ゆきしま	島	島	Yuki	Sima	Yuki Sima	Island	Yuki Island	96.00	プリンスハラル海岸
雪鳥池	ゆきどりいけ	湖池	湖池	Yukidori	Ike	Yukidori Ike	Lake	Lake Yukidori	1973.11	宗谷海岸
雪鳥沢	ゆきどりざわ	沢・谷	谷	Yukidori	Zawa	Yukidori Zawa	Valley	Yukidori Valley	1972.06	宗谷海岸
雪鳥とりで山	ゆきどりとりでやま	山	山	Yukidori-toride	Yama	Yukidori-toride Yama	Mt.	Mt. Yukidori-toride	1988.11	セール・ロンダーネ
雪隠れ島	ゆきかくれじま	島	島	Yukikakure-zima	Zima	Yukikakure-zima	Island	Yukikakure Island	96.00	宗谷海岸
ざくろ池	ざくろいけ	湖池	湖池	Zakuro	Ike	Zakuro Ike	Lake	Lake Zakuro	1972.06	宗谷海岸
ざくろ石丘陵	ざくろいしきゅうりょう	山	尾根	Zakuroisi	Kyûryô	Zakuroisi Kyûryô	Ridge	Zakuroisi Ridge	1994.06	宗谷海岸
浄土平	じょうどだいら	台地	台(terrace)	Zyôdo	Daira	Zyôdo Daira	Terrace	Zyôdo Terrace	1979.03	プリンスオラフ海岸
浄土池	じょうどいけ	湖池	池	Zyôdo	Ike	Zyôdo Ike	Pond	Zyôdo Pond	1979.03	プリンスオラフ海岸
じゃがいも池	じゃがいもいけ	湖池	湖池	Zyagaimo	Ike	Zyagaimo Ike	Lake	Lake Zyagaimo	1972.06	宗谷海岸

別表－３　用語集

ALOS	だいち	Advanced Land Observing Satellite 日本の陸域観測技術衛星．地球規模の環境観測を高精度で行うことを目標とし，地図作成，地域観測，災害状況の把握，資源探査など，幅広い分野での利用が期待されている．2006年１月打ち上げられた．PALSAR，PRISM，AVNIR-2のセンサーを持つ．
Antarctic Treaty System	南極条約	1961年に発効した，南極の平和利用と軍事的利用の禁止，核爆発・放射性物質の処理の禁止等の地域の活動の制限，領土権・請求権の凍結，科学調査の自由と国際協力の推進等の事項を定めた条約．この条約は南緯60度以南の地域に適用される．南極における，研究，観測もこの条約により制限される．
ATCM	南極条約協議国会議	Antarctic Treaty Consultative Meeting 南極条約規定を遵守し，その目的を促進するための協議国間の会議．年に１回開催されている．会議では，南極大陸の漁業資源，鉱物資源，環境保護，観光の環境に与える影響，などが議論されている．南極研究科学委員会（SCAR）は科学的な見地からこの会議に提案・レポート提出などを行っている．
Bessel ellipsoid	ベッセル楕円体	ドイツの天文学者ベッセルが，1837年～1841年に北アフリカを含む中部ヨーロッパにおける弧長測量の資料を基にして，地球の楕円体パラメータを初めて厳密に求めた楕円隊．日本ではこの楕円体を準拠楕円体として2002年３月まで採用していた．2002年４月以降はGRS80楕円体を使用している．
COMNAP	南極観測実施責任者評議会	Committee of Managers of National Antarctic Programmes 各国の南極観測の計画及び実施にあたる政府機関の責任者で構成される評議会．南極に関する輸送や協力体制，観測を実施する上での問題などを議論するため，1988年設立以降，毎年１回開催されている．
DEM	数値標高モデル	Digital Elevation Model 地表面の起伏を数値で表したもの．格子点の標高値として表すことが多い．
DORIS	DORIS	Doppler Orbitography and Radiopositioning Integrated by Satellite 欧州宇宙機関（ESA）が採用している衛星の高精度軌道設定システム，またはそのための装置．位置精度10cm以内を目標とする．南極大陸には昭和基地のほか２基地がある．
GAMIT/GLOBK	GAMIT/GLOBK	GPS Analysis at MIT / Global Kalman filter VLBI and GPS analysis program Massachusetts工科大学(MIT)とScripps海洋研究所(SIO)が共同で開発を進めているGPS解析ソフトウェア．国土地理院では，精密暦を用いた解析に使用している．
GIPSY/OASISⅡ	GIPSY/OASISⅡ	GPS-Inferred Positioning System / Orbit Analysis SImulation Software Ⅱ NASAのジェット推進研究所（JPL)の開発したGPS解析ソフトウェア．国土地理院では，精密単独測位の解析に使用した．
GIS	地理情報システム	Geographic Information System 電子情報化した地図データと空間データ（地理的位置や空間に関する情報を持った自然・社会・経済等の属性データ）をコンピュータ上で結合させ，統合的に処理・管理・分析し，その結果を表示するコンピュータ情報処理システム．

Global Map	地球地図	Global Map 世界の地図作成機関の協力により，地球環境問題の解明のために，全世界同一基準の地図整備を推進する国際組織．国土地理院は，1996年の地球地図国際運営委員会（ISCGM）の設立以来，活動に大きく関わっている．また地球地図の事務局は，国土地理院内に設置されている．南極地図の作成については，1997年に，南極大陸のデータ整備のため，南極研究科学委員会（SCAR）の測地・地理情報作業部会（WG-GGI）と連携を図ることが決議された．
GNSS	汎地球測位航法衛星システム	Global Navigation Satellite Systems GPS，GLONASS等の衛星を利用した汎地球測位航法衛星システム．
GPS	汎地球測位システム	Global Positioning System ４～５個以上の人工衛星の電波を同時に受信して位置を正確に求めるGNSSの一つ．船舶や航空機等の航法支援システムとして1970年代に米国で開発．上空視界が開けている場所であれば，全世界で共通に利用可能．国土地理院では，電子基準点によるGPS連続観測，精密測地網測量や地殻変動測量，基準点測量に利用し，複数の受信機により㎜単位の高精度で測位を実施．GNSSには，GPS以外にも，ロシアで開発・運用しているGLONASS，ヨーロッパ連合で計画しているGalileoなどがあり，我が国で打ち上げが計画されている準天頂衛星計画にもGNSSとしての機能を持たせることが計画されている．
GRS80	GRS80楕円体	Geodetic Reference System 1980 国際測地学及び地球物理学連合／国際測地学協会(IUGG/IAG)が1979年に採択した測地基準系．地球の形状，重力定数，角速度等地球の物理学的な定数及び計算式からなっている．
GSI	国土地理院	Geographical Survey Institute 国土地理院の英語名称
IAG	国際測地学協会	International Association of Geodesy 測地学に関するあらゆる学術的諸問題の研究の振興，測地学的調査の振興等を目的とする国際的な学術団体．国際測地学及び地球物理学連合（IUGG）を構成する団体の一つ．
IAGBN	国際重力基準網	International Absolute Gravity Basestation Network 国際測地学協会(IAG)の提唱により整備された重力に関する網．この網は，汎地球的な重力変換の監視や重力基準の保持などを目的に，高精度に構築されている．観測点のうち，Ａ点は，全世界の地質的に安定した場所に地理的な分布を考慮して36点設置されており，南極大陸には，２点設置されている．昭和基地の点は，第19回国際測地学及び地球物理学連合(IUGG)／国際測地学協会（IAG）総会（1987年）において，国際絶対重力基準網のＡ点の一つとして採用された．昭和基地は，地殻の雑振動の少ない地域であり観測に適している．1995年には，世界初の10日間という長期にわたる，極地域での絶対重力の連続観測に成功している．
ICSU	国際科学会議 国際学術連合会議（1998年まで）	International Council for Science International Council of Scientific Unions (before 1998) 1931年に設立された非政府，非営利の国際学術機関．国籍に関係のない研究協力，複合領域の研究協力，国際連盟との協力関係を推進してきている．この国際科学会議による大規模な国際合同研究計画の一つが，1957年から1958年の国際地球観測年である．

IERS	国際地球回転観測事業	International Earth Rotation and Reference Systems Service International Earth Rotation Service(before 2003) 国際的な地球の自転の精密計測等を行い，うるう秒，直交座標系の決定などを行う機関．1996年国土地理院のVLBI観測局(固定局超長基線)が，IERSへ参加することが決定された．昭和基地のVLBI，GPS，DORIS観測成果は，2000年に登録されている．
IGC	国際重力委員会	International Gravity Commission 国際測地学協会(IAG)の第Ⅲ委員会．地球の重力場，地球の内部や外部の形状と過程との関係及びそれらの時間的変化に関する科学的研究の促進を任務としている．そのため，国際的並びに国内的な関係組織と協力して，重力測定装置の開発と比較検定の実施，観測技術とデータ処理法の改良，重力異常図の作成等を行っている．
IGS	国際GNSS事業 （2005年以前は，国際GPS地球力学事業，国際GPS事業，国際GPSサービス機構等）	International GNSS Service International GPS Service （before 2005） 測地学・地球物理学等の宇宙研究活動を支援するために，各国関係機関の協力のもとで，世界各地の研究者にGPS 情報を提供することを目的としている国際組織．全世界にGPS 衛星の追跡ネットワークを構築し，連続観測を行うとともに，観測データをデータセンターで集中管理して提供している．IGSの観測局は南半球では少ないため，昭和基地のGPS連続観測点は，重要な位置を占めている．
IGSN71	国際重力基準網1971	International Gravity Standardization Net 1971 国際測地学及び地球物理学連合(IUGG)／国際測地学協会（IAG）の第15回総会（1971年）において採択された世界重力基準系．それまで使用されていたポツダム重力系は，ポツダムにおける一つの基準点での絶対重力値を基礎としていたが，IGSN71は８地点での絶対重力値が用いられており，世界中の1854地点（日本では11都市39地点）についてほとんど同じ精度を持つ重力値を与えている．しかし，絶対重力測定の高精度化が進んでいる現在では，より高精度な世界重力基準系の構築が望まれている．
IGY	国際地球観測年	International Geophysical Year 世界67ヶ国，4000人を超す科学者が参加して，1957年７月から1958年12月の18ヶ月間に実施した地球規模の自然現象を理解するための国際協力事業．第３回国際極年（IPY-3）を50年間隔ではなく第２回国際極年（IPY-2）の25年後に実施との提案がされ，IGY（IPY-3）として実施された．
IPY	国際極年	International Polar Year 極地方の地磁気・気象の全世界的な観測を目的とし，地球の物理的な情報を国際的な連携で得ようとした国際的研究計画．第１回国際極年（IPY-1）は1882～1883年，第２回国際極年（IPY-2）は，50年後の1932年から1933年に行われた．第４回国際極年（IPY-4）は，国際地球観測年(IGY)から50年後の2007年から2008年に計画されている．
ITRF	国際地球基準座標系	International Terrestrial Reference Frame 国際地球回転事業(IERS)が構築した世界測地系．世界中の同事業に参加した観測局の座標値及びその速度を内容としている．

IUGG	国際測地学及び地球物理学連合	International Union of Geodesy and Geophysics 1919年に，測地学及び地球物理学の研究の発展を国際協力によって助長することを本来の目的として創設された国際的な学術団体．IUGGは国家を会員とする制度を採用し，七つの協会で構成されている． 国際測地学協会（IAG)は，IUGGを構成する七つの協会の一つで，最も古い伝統を持つ協会であり，その創設は1861年である．IAGの目的は次の三つである． ①測地学に関するあらゆる学術的諸問題の研究の振興させ，測地学的な測地学的な研究を援助する． ②測地学に関するあらゆる分野における国際協力を振興させ，調整する． ③①及び②に示された研究や調査や事業で得られた諸成果を討議し，かつ，印刷公表するための国際的な場を提供する．
IVS	国際VLBI事業	International VLBI Service for Geodesy and Astrometry 測地学・地球物理学等の研究活動を支援するために，各国関係機関の協力のもとで，VLBI 計画を推進することを目的とした活動．VLBI 観測計画の調整，VLBI 局の標準性能の制定やデータフォーマット及び処理結果の標準化を行うとともに，データ解析ソフトウェアに対する勧告を行い，併せて適切な品質及び公開方法の確立を行う． IVSは，VLBI観測を実施あるいは支える機関が国際的に協力して立ち上げた組織で，1999年３月に発足した．これは，GPSやSLRで行っている国際事業（IGS及びILRS）に相当する事業をVLBIで行うことを目指して，国際測地学協会（IAG）の下に設立されたものである．
JARE	日本南極地域観測隊	Japan Antarctic Research Expedition
JGSN75	日本重力基準網1975	Japan Gravity Standardization Net 1975 国土地理院がIGSN71重力値を基準に，それまで得られた国内の重力測定データを使って1975年に構築した国内の基準重力網．
LANDSAT	ランドサット	1972年にアメリカが打ち上げた世界最初の地球観測衛星．以後，現在のLANDSAR7号まで，間断なく続き打ち上げられ，運用されている． 旧名：ERTS衛星
NNSS	米海軍航行衛星システム	Navy Navigation SatelliteSystem 米海軍より1961年頃から開発が始まり1964年から運用を開始した人工衛星による測位システム．当初機密扱いであったが，1967年に一般に公開された．このシステムは，人工衛星が発射する電波を受信・解読して衛星の軌道情報を取得するとともに，発信電波のドップラー効果による周波数の変化を測定し，それらの情報から位置を計算する．
SAR	合成開口レーダー	Synthetic Aperture Radar 地表面の状態を観測するためのリモートセンシングセンサーの一種．人工衛星等が移動しながら地上からの反射波を次々と合成処理することにより，その軌道上に仮想の巨大アンテナがあるのと同等な高分解能の画像が得られるようにするレーダーシステム．このレーダーで同じ場所を時間間隔をおいて２回観測し干渉処理を行うと，面的な地殻変動の分布を高精度に検出することが可能（干渉SAR）．
SCAR	南極研究科学委員会	Scientific Committee on Antarctic Research 南極における科学活動の主導,推進,調整等を目的とした国際的な学術団体．国際学術連合会議（ICSU）のもと，前身の南極研究特別委員会（SCAR: Special Committee on Antarctic Research)の役割を引き継ぎ，1961年発足し現在に至る．国土地理院では，SCARの要請によって1976年から1978年の間に，南極大陸磁気図の作成・完成をしている．
	南極研究特別委員会	Special Committee on Antarctic Research （before 1961） 国際学術連合会議（ICSU）のもと，南極でIGY観測を行う上で，国際間の調整・運営のため1958年発足した委員会．IGY終了後，恒常的な調整・運営が必要と提唱され，1961年に南極研究科学委員会へ引き継がれた．

SC-AGI	南極地理情報委員会	Standing Committee on Antarctic Geographic Information 南極研究科学委員会（SCAR）の地球科学部会(SSG-GS)内に分科会として設置されていた地理情報専門部会が，2006年に独立してできた南極の地理情報の委員会．地理情報の整備・標準化，地名情報のデータベース化等を担当．なお，測地分野は、引き続きSSG-GS内の測地分科会として存在している。
SSG-GS 又は GSSG	地球科学部会	Standing Scientific Group on Geosciences　又は Geoscience Standing Science Group 南極研究科学委員会（SCAR）の地球科学に関する部会．2002年より，SCARの測地・地理情報作業部会（WG-GGI）の活動が，SCARの地質，固体地球物理学等の研究分野の部会に組み込まれて発足した．
VLBI	超長基線電波干渉法	Very Long Baseline Interferometry はるか数十億光年の彼方から地球に届く電波星の電波の到達時刻の差から何千kmも離れた２点間の距離を，わずか数mmほどの誤差で測る技術．昭和基地にあるVLBI電波受信アンテナは，氷床ではなく，強固な岩盤上に設置されており，上質なデータを提供している．
WGS84	WGS84	World Geodetic System 1984 米国が構築・維持している世界測地系．GPSの軌道情報で使われているほか，GPSによるナビゲーションの位置表示の基準として使われている．
WG－GGI 又は GGI	測地・地理情報作業部会	Working Group on Geodesy and Geographic Information 南極研究科学委員会（SCAR）の測地及び地理情報に関する作業部会．国土地理院は，この組織の日本窓口となっていた．この作業部会は，1958年に設置された地質学、氷床学、地図作成等を担当していたSCAR第２作業部会から1960年に独立して地図作成作業部会となり，1961年には測地・地図作成作業部会，1988年には測地・地理情報作業部会と名称を変更し，2002年には他の研究分野の部会と統合して地球科学部会（SSG-GS）となった．

参 考 文 献

［第２章］
国土地理院(1970)：測量・地図百年史，測量・地図百年史編集委員会 編.
南極地域観測統合推進本部(1976)：南極地域観測実施計画第Ⅰ期５か年計画.
国土地理院(1979)：南極地域 基準点・空中写真及び地図成果等収録（昭和 54 年 3 月）.
南極地域観測統合推進本部(1980)：南極地域観測実施計画第Ⅱ期５か年計画.
国土地理院(1985)：南極地域 基準点・重力・地磁気・空中写真及び地図成果収録（昭和 60 年 3 月）.
南極地域観測統合推進本部(1985)：南極地域観測計画第Ⅲ期５か年計画.
南極地域観測統合推進本部(1990)：南極地域観測計画第Ⅳ期５か年計画.
南極地域観測統合推進本部(1995)：南極地域観測計画第Ⅴ期５か年計画.
国土地理院(1999)：測図部の歩み（50 年史），国土地理院技術資料 C・1-No273.
南極地域観測統合推進本部(2000)：南極地域観測計画第Ⅵ期５か年計画.
国土地理院(2002)：南極地域 基準点・重力・地磁気・空中写真及び地図成果収録(2)（平成 14 年 3 月），国土地理院技術資料 B・1-No32.
南極地域観測統合推進本部(2005)：南極地域観測計画第Ⅶ期計画.
文部科学省ホームページ，南極地域観測事業，http://www.mext.go.jp/a_menu/shinkou/nankyoku/index.htm

［第３章］
３．１
鍛冶晃三，印部英一(1957)：1956-57 年度地形測量部門報告，南極資料，Vol.1，17-28.
日本測地学会編(1994)：現代測地学，425-465.
国土地理院(2003)：測地成果 2000 構築概要，1-18.
測量法研究会編(2005)：［逐条解説］測量法，69-79.
IAG ホームページ，Geodesist's Handbook-2004，http://www.gfy.ku.dk/~iag/HB2004/newsum.html
３．２
鍛冶晃三，印部英一(1957)：1956-57 年度地形測量部門報告，南極資料，Vol.1，17-28.
国土地理院，(財)日本地図センター(1979)：南極地域 基準点・空中写真及び地図成果等集録，1-19.
国土地理院（1985)：南極地域 基準点・重力・地磁気・空中写真及び地図成果等集録，1-31.
国土地理院（2002)：南極地域 基準点・重力・地磁気・空中写真及び地図成果等集録(2)，1-30.
※ただし，各隊次の作業報告書及び観測報告書は省略した.
３．３
原田美道，鈴木弘道，大橋伸一(1959)：第 2 次南極地域観測隊重力部門報告，南極資料，Vol.6，34-45.
原田美道，鈴木弘道，柿沼清一，吉田新生(1960)：第 3 次南極地域観測隊重力部門報告，南極資料，Vol.9，43-51.
鈴木弘道，大橋伸一(1961)：南極地域における重力測定について，南極資料，Vol.11，37-38.
鈴木弘道，大橋伸一，柿沼清一(1961)：第 4 次南極地域観測隊重力部門報告，南極資料，Vol.12，37-44.
原田美道，村田一郎(1962)：日本南極地域観測隊による重力測定に関する報告 1957～62 年，測地学会誌，第 9 巻，140-143.
原田美道，柿沼清一，村田一郎(1963)：第 6 次南極地域観測隊重力部門報告，南極資料，Vol.17，35-50.
神沼克伊，国見利夫，大滝茂(1980)：南極・竜宮岬と昭和基地付近での重力観測，南極資料，Vol.70，149-157.
文部省(1982)：南極観測 25 年史，47-49，76-77.
神沼克伊，阿部馨，田中等(1984)：昭和基地での水準測量と重力測量，南極資料，Vol.83，62-74.
国土地理院(1985)：南極地域 基準点・重力・地磁気・空中写真及び地図成果集録，5-30，125-142.
森脇喜一，白石和行，岩田修二，小嶋智，鈴木平三，寺井啓，山田清一，佐野雅史(1985)：セールロンダーネ山地地学調査報告 1985(JARE-26)，南極資料，Vol.86，36-107.
国土地理院(1986)：南極地域 重力・地磁気測量データ集録，1-56.
国立極地研究所(1986)：南極の科学，地学，213-225.
浅見正雄，牧野博，安仁屋政武，林正久，飯村友三郎，林孝，奈良岡浩，米沢泰久，藤田秀二，Edward S. Grew(1987)：セールロンダーネ山地地学調査隊報告 1988(JARE-29)，南極資料，Vol.32，334-363.
森脇喜一，船木實，平川一臣，時枝克安，阿部博，東正剛，宮脇博巳(1989)：セールロンダーネ山地地学・生物調査隊報告 1988-89(JARE-30)，南極資料，Vol.33，293-319.

小山内康人，高橋裕平，田結庄良昭，土屋範芳，林保，蛭田眞一(1990)：セールロンダーネ山地地学・生物調査隊報告 1989-90(JARE-31)，南極資料，Vol.34，445-481.
岩田修二，白石和行，海老名頼利，松岡憲知，豊島剛志，大和田正明，長谷川裕彦，Hugo Decleir，Frank Pattyn(1991)：セールロンダーネ山地地学調査隊報告 1990/91(JARE-32)，南極資料，Vol.35，355-401.
藤原智，渡邉和夫(1992)：南極・昭和基地における絶対重力測定，国土地理院時報，第 76 集，1-6.
山本宏章(1996)：可搬型絶対重力計 FG5 による南極における重力測定，国土地理院時報，第 85 集，18-22.
Nakada,M.，Kimura,R.，Okuno,J.，Moriwaki,K.，Miura,H.，Maemoku,H.（2000)：Late Pleistocene and Holocene Melting history of the Antarctic ice sheet derived from sea-level variations, Marine Geology, 167, 85-103.
澁谷和雄(2001)：昭和基地を中心とした南極測地学の変遷，月刊地球 総特集・新しい南極地球科学－半世紀の進展と展望－，号外 No.35，88-98.
松村正一(2001)：重力基準点網の歴史と重力絶対測定，月刊地球 総特集・新しい南極地球科学－半世紀の進展と展望－，号外 No.35，102-108.
木村勲(2002)：可搬型絶対重力計 FG5 による南極における重力測定(Ⅱ)，国土地理院時報，第 97 集，17-23.
国土地理院(2002)：南極地域基準点・重力・地磁気・空中写真及び地図成果集録(２)，144-180.
大園真子，田部井隆雄，土井浩一郎，澁谷和雄(2005)：GPS 観測に基づく南極大陸の地殻変動，地球惑星科学関連学会 2005 年合同大会予稿集，演題番号 D007-014.
平岡喜文，木村勲，福田洋一，土井浩一郎，澁谷和雄(2005)：可搬型絶対重力計 FG5 による南極における重力測定(Ⅲ)，国土地理院時報，第 108 集，21-27.
福﨑順洋，澁谷和雄，土井浩一郎，寺家孝明(2005)：昭和基地で行われた南極 VLBI 実験の解析(その３)，地球惑星科学関連学会 2005 年合同大会予稿集，演題番号 D006-005.
※ただし，各隊次の作業報告書及び観測報告書は省略した.

３．４

鍛冶晃三(1958)：南極地域観測報告，地理調査所時報，第 22 集，25-30.
原田美道(1960)：アルゼンチン南極シンポジウム，地理調査所時報，第 25 集，1-3.
原田美道(1960)：第 6 次南極観測測地事業報告，地理調査所時報，第 27 集，21-23.
田島稔(1968)：南極地域の測量，国土地理院時報，第 34 集，14-18.
鳥居鉄也(1968)：第 8 次南極地域観測隊越冬隊報告，南極資料，Vol.33，1-26.
田島稔，柿沼清一，吉田光雄，増田実，吉村愛一郎(1972)：リュツォ・ホルム湾とその沿岸地域の航空磁気測量，南極資料，Vol.44，69-78.
金子英樹(1976)：プリンスオラフ海岸地域の航空磁気測量，南極資料，Vol.55，61-68.
春山仁(1977)：電子計算機による地磁気成分図の作成，測地資料 B5-No.5，1-7.
文部省(1982)：南極観測 25 年史，181-183.

３．５

鍛冶晃三(1958)：南極地域観測報告，地理調査所時報，第 22 集，25-30.
原田美道(1960)：第 6 次南極観測測地事業報告，地理調査所時報，第 27 集，21-23.
大浦浩文，藤野和夫(1965)：昭和基地における潮汐，南極資料，Vol.24，14-17.
田島稔(1968)：南極地域の測量，国土地理院時報，第 34 集，14-18.
堀 定清，印部英一(1968)：昭和基地における潮汐，南極資料，第 24 集，48-54.
文部省(1982)：南極観測 25 年史，110.
神沼克伊，阿部馨，田中等(1984)：昭和基地での水準測量と重力測量，南極資料，Vol.83，62-74.
神沼克伊，木村勲(1997)：南極・昭和基地の水準測量とその解釈，測地学会誌，第 43 巻，第１号，23-26.
神沼克伊，大滝修，木村勲(1997)：南極・東オングル島の水準測量，測地学会誌，第 43 巻，第４号，241-243.
Katsutada Kaminuma and Isao Kimura(1997)：LEVELING SURVEY ON EAST ONGUL ISLAND,ANTARCTICA AND ITS IMPLICCATIONS,Proc.NIPR Symp.Antarct.Geosei.，No.10，19-25.
海洋情報部(2006)：IHO 南極水路委員会第 3 回会議ナショナルリポート.

３．６

山田晃子，大滝修，畑中雄樹，宮崎真一，丸山一司，板橋昭房(1998)：南極地方の広域 GPS 連続観測データの解析，国土地理院時報，第 89 集，27-32.
Yamada，A.，K.Maruyama，O.Ootaki，A.Itabashi，Y.Hatanaka，S.Miyazaki，H.Negishi，T.Higashi，Y.Nogi,M.Kanao, and K.Doi (1998)：Analysis of GPS data at Syowa station and IGS tracking station, Polar Geoscience，No.11，1-8.

Kazuo Shibuya, Koichiro Doi, Yoshihoro Fukuzaki and Masao Iwata (2005): Geodesy reference points within Syowa Station, Antarctica, and their local geodetic ties, Polar Geoscience, 18, 130-161.

３．７

本山秀明，榎本浩之，古川昌雄，神山幸吉，庄子仁，白石孝行，渡邉和夫，生巣国久，池田尚應(1995):GPS 相対測位による東南極の沿岸からドームふじ間の氷床流動の観測(序報)，南極資料，Vol.39，No.2，94-98.
大滝修，藤原智(1997):南極大陸上の S16 での GPS による氷床移動観測，第 17 回地学シンポジウム要旨，5-6.
岩田昭雄(1998):露岩域及び氷床上における GPS 連続観測，国土地理院技術報告(H10．7．16).
平岡喜文，木村勲，湯通堂亨，雨貝知美(2004):ラングホブデ GPS 固定点による露岩変動測定(Ⅲ)，第 24 回南極地学シンポジウム要旨，97-98.
国土地理院(2002):南極地域 基準点・重力・地磁気・空中写真及び成果集録(2)（平成 14 年 3 月），国土地理院技術資料 B･1-No32.
Kazuyuki Morita(2005): Abstr. 25th Symp,Polar Geosci., 72-73.
ECaSS®ﾌｫｰﾗﾑ準備委員会の Web サイト，http://www.ecass-forum.org/jpn/

３．８

Fukuzaki, Y., K. Shibuya, K. Doi, T. Ozawa, A. Nothnagel, T. Jike, S. Iwano, D.L. Jauncey, G.D. Nicolson, and P.M. McCulloch (2005): Results of the VLBI experiments conducted with Syowa Station, Antarctica. J. Geod., 79, 379-388.

３．９

国土地理院(1970):測量・地図百年史，測量・地図百年史編集委員会編.
国土地理院（1979):南極地域 基準点・空中写真及び地図成果等収録（昭和 54 年 3 月）.
国土地理院(1985):南極地域 基準点・重力・地磁気・空中写真及び地図成果収録（昭和 60 年 3 月）.
国土地理院(1999):測図部の歩み（50 年史），国土地理院技術資料 C・1-No273.
国土地理院(2002):南極地域 基準点・重力・地磁気・空中写真及び地図成果収録(2)（平成 14 年 3 月），国土地理院技術資料 B･1-No32.
国土地理院（1985): 南極地域 基準点・重力・地磁気・空中写真及び地図成果集録.

［第４章］

４．１

国土地理院(1970):測量・地図百年史編集委員会編，測量・地図百年史.
国土地理院（1979):南極地域 基準点・空中写真及び地図成果等収録.
SCIENTIFIC COMMITTEE ON ANTARCTIC RESEARCH (1980): STANDARD SYMBOLS FOR USE ON MAPS OF ANTARCTICA, EDITION 2.
国土地理院(1985):南極地域 基準点・重力・地磁気・空中写真及び地図成果収録（昭和 60 年 3 月）.
Kiichi Moriwaki (2000): Gazetteer of eastern Dronning Maud Land, Antarctica, First edition, National Institute of Polar Research.
南極地域観測統合推進本部(2001)：南極地名命名規程.
国土地理院(2002):南極地域 基準点・重力・地磁気・空中写真及び地図成果収録(2)，国土地理院技術資料 B・1-No32.
小須賀 洋，野村治嗣(2003): 地図，Vol.41，№3.
南極地域観測統合推進本部(2005):南極地域観測第Ⅶ期計画（平成 17 年 11 月 11 日）.
国土地理院(1999):測図部の歩み（50 年史），国土地理院技術資料 C･１－№273.
Australian Government Antarctic Division の Web サイト，SCAR symbology 1980，http://www.aad.gov.au/?casid=13070.

４．２

Kiichi Moriwaki (2000): Gazetteer of eastern Dronning Maud Land, Antarctica, First edition, National Institute of Polar Research.
国立極地研究所(2002):極地研 NEWS No.162.
国立極地研究所（2002）:南極資料，Vol.46，No1.

４．３

国土地理院(1997):南極地域における数値地形分類図，国土地理院技術資料 D･1-No.345.